

バトルスピリッツ 烈火魂 VS コアの光主

連刃王

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ハーメルン初投稿ですがよろしくお願ひします

【少年撃破】VS【烈火魂】でバトスピさせたら面白いんじゃないかと言ひ思いつきから始まりました

世界観としては撃破は異界王事件後しばらくして

烈火魂はとりあえずパラレルと置いて下さい（バーニング・ソウルドラゴンを入手前後の頃辺り）

文才、構成力、その他国語力0の作者ですがよろしければ見ていつて頂けると嬉しいです

目次

第1話	序章	1
第2話	出会い	4
第3話	対峙	8
第4話	激突VS破壊	11
第5話	和解、そして	20
第6話	再会	23
第7話	ソウルバースト	27
第8話	新たな力へ	34
第9話	海と光の邂逅	38
第10話	天使の舞、潮風と共に	41
第11話	戦いを呼ぶ者	48
第12話	猿面軍団	51
第13話	白の戦士	54
第14話	予期せぬ出会い	64
第15話	記憶の行方	67
第16話	合戦の狼煙	69
第17話	再戦	71
第18話	続く激闘	80
第19話	ソウルバーストVSアルティメット	82
第20話	烈火出陣	88
第21話	ソードブレイヴ対決	90
第22話	再開、再戦	100
第23話	白き騎士、緑の暴風	106
第24話	炎VS海原	115

第28話	天魔王降臨	133
第27話	決着の時	129
第26話	因縁の対決	123
第25話	次へのステップ	120

第1話 序章

「あるべき時代、あるべき姿へ戻る時よ」

マザーコアの光主となり、純白のドレスを身に纏った異界魔女『マギサ』がそう告げ空高くへと飛び立つ

「げきとつおーっ!!」

「バイバイだあああああ」

彼女に連れられて背の低い強い訛りの話し方の少年が大きく手を振りながらコアを動力として動く船『ヴァイオレット号』に乗せられ光の奥へと姿を消していく

「ズングリー、マギサ!!」

「またな!!」

深紅の髪の少年、『馬神弾』もそれに応えるように声を張り上げ別れを告げる

眩い光がゆつくりと6つの大地を飲み込み、最後にズングリーを乗せた船『ヴァイオレット号』が飲み込まれると先程とは打って変わって静寂に包まれた

優しい風が見送る6人の少年少女を包み込む

「さようなら、、グラン・ロロ、、」

それから数ヶ月後

後に『異界王事件』と称される事件解決を祝うため彼ら『コアの光主』達とはある別荘へと集まっていた

そこに片手で荷物を背負うように持ちゆつたりと赴いた馬神弾を緑の戦士『兵藤 剣蔵』が出迎える

「それもそのはず、ここは彼の家の別荘であったから

「遅刻ですよ」

「悪い悪い

もうみんなは来ているのか?」

「ええ、なんて言っても光主の同窓会ですから」

劍蔵に案内され辿り着いた一室には既に待ち侘びたと云わんばかりの少年少女が合計4人

そこに弾、劍蔵を合わせた6人がグラン・ロロのコアの光主と呼ばれた者達であった

その中から弾は窓際に座り、手元のテーブルにカードゲーム『バトルスピリッツ』のデッキを伏せて置いた青年を見つけ歩み寄る

「君とバトルをしたくてね」

その青年『百瀬 勇貴』は優しく微笑みながら弾にバトルスピリッツの対戦を申し込む

「コアの戦士とか使命とか、そんな物を全て取り払ってお前に勝ちたいんだ」

「出来るかな?」

「出来るさ」

着々とバトルは進められいよいよ大詰め

勇貴の残りライフは1

そしてターンは弾へと戻された

「スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、リフレッシュステップ、メインステップ！」

龍星皇メテオヴルムを召喚!!」

弾が龍星皇メテオヴルムを召喚を宣言し6個のコアを置く

だがしかし、突如として異変は起こった

突如コアが光を放ち部屋全体を包み込んでいく

「な、なんだ!?!」

「くっ、っ、」

「what, s!?!」

「何々!?!」

「なんですかいきなり!?!」

「うわああっ!!」

6人は為す術なく光に飲み込まれ、その部屋より姿を消したので
あつた

ここからこの不思議な物語は始まりを告げたのである

第2話 出会い

ここは今、最もバトスピの盛んな街『武蔵』

数多くのカードバトラー達が天下布武を目指し切磋琢磨する大都
会

ここで数多くのカードバトラーと戦い、時には敵として、また時には仲間としてバトスピを通じ競い高め合ってきた男『烈火幸村』がいる

「つたく、、、 佐助達遅いなあ、、、」

「焦る気持ちもわかるでござるが、そうなってしまうえば勝機を見落とす

普段からの鍛錬と思うでござるよ」

幸村にそう助言めいたことを言う少女『黒田環奈』

彼女は天才的な頭脳と知識を持ち合わせており以前に幸村に救われた事をきっかけに指南役として共に旅をしていた

その場に慌てて駆け寄ってくる少年がいる

「悪い幸村っ!!」

「どうしたんだ佐助?」

その少年は『暁佐助』

バトスピを始めて数ヶ月でまだまだ実力はまだまだであるが幸村のバトルに惚れ込み弟子として修行を行っている

「あれ?太一と有弥と拓馬は?」

太一、有弥、拓馬は佐助の仲間で彼が幸村と共に行動するのと一緒にいる少年達であったが今この場にいるのは佐助のみであった

「3人が同時に風邪をひいたらしくってその確認で遅れちゃったんだ」

「そうか、、、 なんなら今からお見舞いに行こうか?」

「いやいや、幸村には大切な試合が控えているんだ

今風邪をうつされる訳にはいかないって3人共言ってたんだ」

「なら、治ったら何か埋め合わせをしなくっちゃ、、、 な、、、?」

幸村はそこでふとある事に気がつく

自分の足元の影が徐々に大きくなっていく

ゆつくりと上を向くとそこには勢いよく落下してくる深紅の髪の少年がいた

「うわああああああつ!!」

どいてどいてどいてえええつ!!」

そして少年は幸村と勢いよく激突して勢いを止めた

「痛つつ、、、なんか以前にもこんなことがあった様な、、、」

「ええつと、、、悪いんだけどそこをどいてくれるかな?」

深紅の髪の少年は落下で軽く後頭部を打つたのか頭を摩りながら辺りを見渡していると自分の下にいた幸村に気がつく

「ああつ!」

「ごめん」

慌てて少年は幸村の上から下りると直ぐに手を差しのばす

「大丈夫か?」

「あ、ああ」

「ええつと君は?」

「え?」

「ああ、俺は馬神弾

君は?」

「俺は烈火幸村、空から落ちてきたみたいだけどどこから落ちてきたんだ?」

「さあ?」

「って言うかここどこ?」

「日本、、、みたいだけど違うみたいだし、、、」

「こんな所見たことないや」

「ここは武蔵、今最もバトスピが盛んな街だ」

「バトスピ!」

「もしかしてお前もカードバトラーか!」

それまで辺りを見渡していた弾は『バトスピ』という単語に目を輝かす

「あ、ああ」

その勢いに飲まれ気味な幸村は汗を垂らしながら頷く

「もしよかつたら俺とバトルしないか？」

こう見えて俺、元いた街では『激突王』って呼ばれてて

まあ、優勝した事はないけどハイランカーなんだ」

「激突王？」

聞いたことないな、、、

それにハイランカーってことはA級以上のバトラーって事か、、、

なんだか気に入ったぜ

よし、するか

ちよつとついてきてくれ」

「どこかのショップでするのか？」

「いや、俺たちは今からスタジアムに行くつもりなんだよかつたら一緒こないか？」

「スタジアム？」

そんなところで何するんだ？」

「お前、3Dバトルを知らないのか!？」

「ごめん、俺、知らないや」

「ふむ、今時3Dバトルを知らない者もいるでござるか、、、

今世は空前のバトスプームが巻き追ってるでござる

その火種として現れたのが3Dシステム、文字通りにスピリットやマジック、ネクサスなどが立体映像として現れて戦うバトルのことでござる」

しばらく話をしながら歩いて行くと大きな体育館の様な場所に辿り着いた

「ここが武蔵スタジアムだ

ここで3Dバトルを行えるんだ」

とそこで会場の入り口付近に出来ている人だけに一同は目を止めた

何やら揉め事の様であまり聞こえのよくない言葉が遠くから聞こえてくる

「何かあったみたいだな、、、

ちよつと様子を見に行こうぜ」
幸村が駆け出すとそれに続いて環奈、弾、佐助と騒ぎの方へと足を
進めた

第3話 対峙

人だかりにの中央には紫の髪の少女と白と赤の法被を着た男が言い争っていた

「だからあんたなんかには用はないんだって

早くその炎利家とか言う自称最強の赤使いに会わせろっていつているの!!」

「なんだと小娘えっ!!」

利さんに向かってなんて口の利き方だ!」

「大体あんた達も揃いも揃って1人に群がって!!

ほんつとに情けない」

「なんだとうっ!!」

誰の目にも2人の視線から火花を撒き散らしている事が分かるほどいがみ合う2人

片方は紫の髪に小さく結ったおさげが特徴的な少女『ヴィオレまゐ』

もう一方は炎利家のチームにて炎組親衛隊筆頭を自称する男『赤井長頼』

「どうせお前が言うダンとか言う奴なんか利さんの足元にも及ばないっての

馬鹿じゃねえの?」

「弾はあんた達なんかには負けないわよ!!

馬鹿はあんた達の方よ!」

今にも取っ組み合いが始まりそうなほどいがみ合う2人を取り巻く野次馬達を掻き分けて幸村はようやくやく辿り着いた

「赤井長頼!」

「なんの騒ぎだよこれは?」

「げっ、、、

烈火幸村!」

幸村に続くように現れた弾は膝に手をつき息を整える
「やっと出られた、、、

なんなんだよこの人だからは？」

「げっ、」

弾!？」

幸村、弾に対してそれぞれ同じ反応をしたまると長頼は更にいがみ合う

「おいおい、一体なんの騒ぎだ？」

そこに更に背の高い男が割って入る

「と、利さん!？」

やや気怠げに2人の前まで歩いてきた男『炎利家』は辺りを一通り見渡すと大きな溜息を吐く

「一体いつからここはこんなに腰抜けが集まるようになったんだ？」

「どいつも小娘1人に、」

小娘呼ばわりされたまゐるは眉をひくつかせながら利家の前に立つ

「へ、へえ、」

あんたが炎利家、、ねえ

自称最強の赤使いさんの、」

「ああん!？」

もっぺん言ってみろ」

「だからあなたが自称最強の赤使いさんの炎利家さんなのかって聞いているの!!」

「久々に頭にきたぜ、」

「そこまで言うなら俺に勝てるんだろっうな!？」

「やめろって利!!」

2人の間に割って入り仲を持つとうとする幸村であったが、その声は2人には届かない

「いいわ、やりましょう、」

「そのバトル、俺が受けるよ!!」

まゐるの前に立ち利家と弾が対峙する

「おい、てめえっ!!」

「こいつは俺とこの女とのバトルだ！」

邪魔するんじゃねえ」

「関係ないね!!」

俺は最強の赤使いと聞いちゃあ黙ってられないんでね、同じ赤属性の使い手として!!」

「…、いいぜ、ならお前をぶっ飛ばした後は好きにさせて貰うからな!!」

そして弾は利家に連れられスタジアムの中、対戦フィールドへと案内された

「ここでバトルするのか」

「さっさとしろ!」

利家に急かされるように弾はテーブルの前に立つ

利家は何もない場所に立ったまま弾に対峙する

「そつちこそ早く準備しろよ」

「うるせえっ!」

来やがれ!炎獣皇!!」

利家がデツキケースを高らかに掲げると何処からともなく獅子の形をした機械が姿を現した

それと同時に弾の立っていた台座が宙に浮かぶ

「さあ、いくぜ!!」

「ああっ!!」

『ゲートオープン、界放!!』

第4話 激突VS破壊

浮き上がった機械に立ち向かい合う弾と利家

だが、弾はどこか落ち着かない様子でいた

「バトルフォームを纏わないなんてなんか新鮮な気分だな、、、」

そう呟いた弾をどこか懐かしげな表情で見つめるまゐりに幸村が問いかける

バトルフォームってなんのことだ?」

「私達が経験してきたバトルスピは鎧を身に纏って実際に文字通り『命』を賭けたバトルスピだったの

そしてその鎧を『バトルフォーム』と呼んでいたの
「なるほどな、、、」

【ターン01】

「先攻は俺から行こう

スタートステップ!!

ドローステップ、メインステップ!

エリマキリザードとレイニードルをレベル2で召喚

ターンエンド」

【弾】

『レイニードル』レベル2、2個、BP3000

『エリマキリザード』レベル2、2個S、BP2000

手3、ラ5、リ0、ト0

【利家】

手4、ラ5、リ4、ト0

【ターン02】

「旧世代のスピリットを使っているのか」

「旧世代?」

「まあいい、スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、メインステップ!

ヤイバードを2体召喚!!

アタックステップ、ヤイバードでアタック」

「ヤイバードのBPは2000

なら、レイニードルでブロック」

ヤイバードとレイニードルがぶつかり合う

そしてレイニードルの放った青き炎に焼かれてヤイバードが破壊されるが、ヤイバードが巻き起こした爆発がレイニードルを飲み込み破壊した

「ヤイバードの破壊時効果、破壊時にこのスピリットにソウルコアが置かれている時、BP6000以下のスピリットを破壊できる」
「くっ、」

「続けてもう1体のヤイバードでアタックだ!!」

「ライフで受ける!!」

弾がヤイバードの攻撃に備え身構えるとヤイバードが弾のライフを1つ破壊し衝撃が弾を貫く

だが、弾はどこか物足りなさそうな表情となる

「やっぱりライフで受けても痛くないんだな、」

「ターンエンドだ」

【弾】

『エリマキリザード』レベル2、2個S、BP2000

手3、ラ4、リ3、ト0

【利家】

『ヤイバード』レベル1、1個、BP2000疲

手3、ラ5、リ1、ト3

【ターン03】

「ドローステップ、よし！」

メインステップ、まずはディノニクソーを召喚

続けてマジック、エクストラドローを使用

デッキの上から2枚ドローし、3枚目をオープン

赤のスピリットの時、手札に加える事が出来る」

オープンされたカードは龍皇ジークフリードであった

「龍皇ジークフリードは赤のスピリット、よって手札に加えるアタックステップ、ディノニクソーでアタック！」

「ライフで受ける」

「ターンエンド」

【弾】

『エリマキリザード』レベル2、2個S、BP2000

『デイノニクソー』レベル1、1個、BP1000疲

手5、ラ4、リ0、ト3

【利家】

『ヤイバード』レベル1、1個、BP2000疲

手3、ラ4、リ2、ト3

【ターン04】

「デイノニクソーにジークフリードだと？」

舐めやがって、、、

メインステップ、鉄砲犬ザツシュをレベル2で召喚

ソウルコアはヤイバードのコアと交換

アタックスステップ、ザツシュでアタック!!」

「ライフで受ける!!」

「ターンエンドだ」

【弾】

『エリマキリザード』レベル2、2個S、BP2000

『デイノニクソー』レベル1、1個、BP1000疲

手5、ラ3、リ1、ト3

【利家】

『ヤイバード』レベル1、1個S、BP2000

『鉄砲犬ザツシュ』レベル2、3個、BP11000疲

手3、ラ4、リ0、ト2

【ターン05】

「ジークフリードまで、あと1つ！

コアステップ、ドローステップ、リフレッシュステップ、メインステップ！

エリマキリザードをレベル1にダウン

そして、来たれ、始まりの赤き龍!!

龍皇ジークフリードをレベル2で召喚

ターンエンド」

【弾】

『エリマキリザード』レベル1、1個、BP1000

『デイノニクソー』レベル1、1個、BP1000

『龍皇ジークフリード』レベル2、2個S、BP6000

手5、ラ3、リ0、ト4

【利家】

変化なし

【ターン06】

「ドローステップ、リフレッシュステップ、メインステップ！

ザッシユをレベル1にダウン

そして、来やがれ、俺のセンゴク・タイガー!!

ターンエンドだ」

【弾】

変化なし

【利家】

『ヤイバード』レベル1、1個S、BP2000

『鉄砲犬ザッシユ』レベル1、1個、BP6000

『センゴク・タイガー』レベル1、1個、5000

手3、ラ4、リ0、ト4

【ターン07】

「メインステッ、」

(あのセンゴク・タイガー、、、恐らく利家のキースピリットだ

ここまでの流れから推測するにBP破壊効果のスピリットだ、、、

俺のライフは残り3個、、、

大量破壊されれば残ったライフもあつという間に破壊される

なら、、、！)

「ジークフリードをレベル3、エリマキリザードをレベル2にアップ

ターンエンド」

【弾】

『エリマキリザード』レベル2、2個、BP2000

『デイノニクソー』レベル1、1個、BP1000

『龍皇ジークフリード』レベル3、5個S、BP10000

手6、ラ3、リ0、ト0

【利家】

変化なし

【ターン08】

「ドローステップ、よし、メインステップ!!」

刀将鎧アシユ・ライオンを召喚

そしてブレイヴ!!

アシユ・ライオンをセンゴク・タイガーと合体!!」

「スピリット同士で合体した!?!」

「ヤイバードのソウルコアをセンゴクタイガーのコアと交換

アタックステップ、合体スピリットとなったセンゴク・タイガーで

アタック

アシユ・ライオンの合体時効果によりBP7000以下のスピリット

ト、デイノニクソーを破壊!!」

更にセンゴク・タイガーのアタック時効果によりジークフリードを

破壊だ!!」

「なに!?!」

でも、まだ終わらない!

ジークフリードの破壊時効果によりライフが1つ回復する」

「まだセンゴクタイガーの効果は続いている

この効果で破壊したスピリットがBP7000以上の時、ソウルコ

アをトラッシュに置くことで回復する」

「そのアタック、エリマキリザードでブロック!!」

続けてフラッシュユタイミング、マジック、ヴェクトリーファイアを

使用

BP3000以下のスピリット、ヤイバードを破壊する」

合体スピリットの放った炎に包まれ弾のフィールドのスピリット
が全て焼き尽くされた

「もう1度センゴク・タイガーでアタック」

「ライフで受ける!!」

「ターンエンドだ」

【弾】

手5、ラ2、リ6、ト5

【利家】

『鉄砲犬ザツシユ』レベル1、1個、BP6000

『センゴク・タイガー』+『刀将鎧アシユ・ライオン』レベル1、2個、9000

手3、ラ4、リ1、ト4S

【ターン09】

「ドローステップ、、！」

(やはり来てくれたか、ズングリー!!)

「メインステップ!!」

レイニードルをレベル2で召喚、更にマジック、ビッグバンエナジーを使用

このターンの間、手札にある系統、【星竜】を持つスピリットの召喚コストを自分のライフと同じにする

よって、雷よ、天を裂け!!

雷皇龍ジークヴルムをノーコストで召喚

更に雷皇龍ジークヴルムを転召させ、紅蓮の星より生まれし龍よ、来たれ!!

超神星龍ジークヴルム・ノヴァをレベル3でノーコストで召喚!!

ジークヴルム・ノヴァの召喚時効果によりジークヴルムからの転召によりライフが5まで回復する

アタックステップ!!

超神星龍ジークヴルム・ノヴァでアタック!!

ジークヴルム・ノヴァのアタック時効果により合計BP10000までスピリットを好きなだけ破壊出来る

BP9000合体スピリットを指定!!」

「っ!!」

アシユ・ライオン、分離!!」

「更にジークヴルム・ノヴァのもう1つの効果、【激突】!!」

「ザツシユでブロックだ!!」

ジークヴルム・ノヴァがザツシユを蹴散らす

「更にレイニードルでアタック」

「ライフで受ける!」

「ターンエンド」

【弾】

『超神星龍ジークヴルム・ノヴァ』レベル3、5個S、BP15000
疲

『レイニードル』レベル2、2個、BP3000疲

手2、ラ5、リ0、ト3

【利家】

『刀将鎧アシユ・ライオン』レベル1、1個、BP4000疲

手3、ラ3、リ4、ト4S

【ターン10】

「メインステップでマジック、ネオダブルドローを使用

効果で2枚ドローしターンエンドだ」

【弾】

変化なし

【利家】

『刀将鎧アシユ・ライオン』レベル1、1個、BP4000

手5、ラ3、リ6、ト3

【ターン11】

「メインステップ、レイニードルをレベル3にアップ

更にネクサス、太陽石の神殿をレベル2で配置

アタックスステップ、超神星龍ジークヴルム・ノヴァでアタック!!

アタック時効果により刀将鎧アシユ・ライオンを破壊!!

ジークヴルム・ノヴァはダブルシンボルお前のライフを2つ破壊する!!」

「フラッシュタイミング!!」

マジック、焰大傾奇!!

レイニードルを破壊だ!!

そしてそのアタック、ライフで受ける!!」

「ぐっ、っ、ターンエンド」

【弾】

『超神星龍ジークヴルム・ノヴァ』レベル3、5個S、BP15000
疲

『太陽石の神殿』レベル2、1個

手2、ラ5、リ4、ト3

【利家】

手4、ラ1、リ3、ト8

【ターン12】

「このターンで決めてやる!!」

まずは角タヌを2体、鉄砲犬ザツシユを召喚

そして!!

来い!怒れる百獣の王!灼熱の猛き獅子よ!戦国六武将レオンランサーをレベル5で召喚!!」

「レベル5だって!？」

ガイアスラすら超えるレベルがあるなんて、っ、」

アタックステップ、角タヌ2体、ザツシユでアタック!!」

「全てライフで受ける!!」

「とどめだ、戦国六武将レオンランサーでアタック!

アタック時効果発揮!!

みなぎれ、俺の炎!燃え盛れ、レオンランサー!ソウルドライブ発
揮!!

ソウルコアを燃やす事でBP20000以下の相手のスピリット
全てを破壊する!!」

「なに!？」

ノヴァが!!」

「更にソウルコアの置かれたスピリットを破壊した時、相手のライフ
を1つ破壊する!!」

「ぐっ、」

「そしてレオンランサーのメインのアタックだ!!」
「、、ライフで、、受ける」

第5話 和解、そして

バトルを終え弾は利家の前まで歩く

「流石は最強を名乗るだけはある、」

利家、ありがとうございました、いいバトルでした」

弾はそつと手を差し出す

「、よく言うぜ、あんな何世代も違うデツキで俺のレオンランサーを使わせやがったやつが

次はちゃんとしたデツキで来い！」

利家もその手を取り2人は固い握手をする

「利でいい弾

それにそのの、悪かったな

今回はこれでチャラだ」

「つたく、どこに行つても赤使いは勝手なんだから、」

利家はそつと手をあげるだけで別れを告げずにその場を後にした

「さてと、俺たちもバトルするかつと言いたいところだけど今の状況で弾と戦つても不公平だな

よし、ついて来い弾！

それに、」

幸村はまるを見つめ何と呼ぶべきか悩む

「ヴィオレまるよ

ええつと幸村？で良いんだっけ」

「ああ、じゃあ弾、まる、良いものを見せてやる

付いてきてくれ」

そして幸村達は出口へと歩みだした

一方その頃とある森の中

太陽の光がほとんど届かない程木々が生い茂る中深緑の髪と大き

く広がった額が特徴的な少年『兵藤剣蔵』の姿があった

「ここはどこなんだろう、」

みんなと楽しく同窓会をしてた筈が、」

不安気な足取りで出口を求めて歩みを進める剣蔵であったがこれ数時間人つ子1人いない森の中、不安を隠せなかった「どうしよう、、、」

このまま出られなかったら、、、
、、、なんて、弾君ならきつと言わないだろうな

『大丈夫だって、きつと出られるよ』とか言うんだろうな
だったら僕も信じます」

そう呟きながら自分を奮い立たせながら歩き続けること更に約1時間後、剣蔵の目の前に人1人が乗れる程の大きさの岩の上に座禅を組みなにやら瞑想を行っている人が視界に現れた

「ようやく人に会えた!!」

あおう、すみませえん」

剣蔵の声と同時に男は目を開き立ち上がる

「、、、こんな山奥に何の用だ？」

「実はちよつと出口が分からなくて、出来れば案内して欲しいんですが」

「そうか、俺も丁度山を降りようと思っていたところだ

案内してやる」

「ありがとうございます！」

僕、兵藤剣蔵って言います」

「剣蔵か、、、俺は宝緑院兼続だ

では行くぞ」

「はいっ!!」

そうして2人は山の麓へ向けて歩き出す

「ところで兼続さんは一体何をしていたんですか？」

「次の戦国チャンピオンシップで戦う利との対戦に備え、英気を養っていた」

「チャンピオンシップ？バトスピですか？」

ああと頷く兼続に対し眉をひそめ悩む剣蔵

「戦国チャンピオン、、、聞いたことないですね、、、」

でも、もしよければ僕とバトルしませんか？

こう見えても僕、コアリーグやチャンピオンシップで優勝した経験がありますし

助けてもらったお礼に、、、どうですか？」

「そうか、なら手合わせ願おう

近くにスタジアムがある、そこでバトルだ」

そうして2人は山より少し行った先にある武蔵スタジアムへ向かって歩き出したのであった

第6話 再会

武蔵スタジアムの入り口に辿り着いた剣蔵と兼続はそこで幸村達と鉢合わせとなる

「むっ、、、幸村か

それと、、、そこにいる見慣れないやつは誰だ?」

「こいつらは、、、」

「あっ!!」

弾君!!それにまるさんも!!」

幸村が紹介しようとしたところで剣蔵が弾とまるに気がつき駆け寄る

「剣蔵じゃないか!

よかった、無事だったんだな」

「はい、でもお2人だけですか?」

「ああ、でも剣蔵にも会えたんだ

きつとすぐ会えるよ」

弾がそう言うともまると剣蔵は視線を合わせやはりと言いたげな表情となる

「弾君がそう言う」と

「ほんとにそうなっちゃうから凄いなだね」

3人の会話に置いてけぼりとなった兼続と幸村に対し3人は向き直る

「ええつと俺は馬神弾、こっちがヴィオレまるでこいつが兵藤剣蔵

俺のいた場所で一緒にいた仲間なんだ」

「そうか、知り合いに会えたのか

よかったよ」

心底安心した様子の幸村を横目に兼続は小さく微笑むとスタジアムの中に歩み出す

「兼続?」

「どこにいくんだ?」

「俺はそこにいる剣蔵とバトルをする約束を置いてな」

「はい、なので弾君、まるさん、少しの間待っていてください」
「ああ」

剣蔵に対して弾とまるは頷く

「よし、なら俺たちも観戦とするか

弾とまるには是非見て貰いたいからな」

「なにかあるのか？」

「まあ見てのお楽しみという事で

環べえ、佐助、いいよな？」

「うむ、宝緑院兼続のバトルなら観戦しながらこの時代のバトルに関して知ってもらわなくてはならない事を教えるにはうってつけ

賛成でござやる」

「もちろんだ

ついでに兼続のやつの戦い方も勉強になるしな」

そうして幸村達は兼続VS剣蔵のバトルを観戦することになるのであった

スタジアムのフィールドに向かい合って立つ剣蔵は直ぐにバトルテーブルの前に移動しバトルの準備を始める

「ここにはこんな物があるんですね

初めて見ましたよ

さてと、こっちはいつでも準備万端ですよ」

「ならば！

来い、緑風神!!」

兼続の掛け声と共に利家同様、だが形状の違った乗り物が現れた
「あれってここではみんな持つてるのか？」

弾が幸村に問いかけると幸村は首を横にふる

「あれはS級バトラーのみがIBSAから与えられる専用機なんだ
その人によって形状は違うんだ」

「幸村もS級バトラーなんだぜ！」

後は利家と早雲って言う青の使い手もいる」

「へえ、やっぱり幸村も強いんだな」

「まあ実力は今度バトルをする時にでも確認するといいだろう、」

「バトルの前に少し聞きたいことがあるでござやる」

「ん？」

「なんだ？」

「拙者は疑問に思っていた事がある

とその前に確信がほしい、もしよければお主達のデッキを見せてもらってもよいでござやるか？」

弾はなんの疑問もなくデッキを差し出し、まるでどこか疑う様子で恐る恐るデッキを渡す

「やはりそうでござやったか」

「なにがやはりなんだ環べえ？」

「この者達、少なくともこの世界、この時代の者ではないでござやる」「どういうことだ？」

「初めに違和感を感じたのは弾と利家のバトルでござやる

幸村の時もそうではあったが利家の使用するカードの効果を把握できていなかったでござやる

ただそれだけならば只の無知と認識していたでござやる

だが、弾はそうではなかった

カードの効果の予測は正確でござやったが、その上限の目測のみを誤った

これは自分がしてきた時とは明らかに差があったことを示すでござやる

よく経済用語を用いて『インフレーション状態』という事がある

より強いカードを求めるのがカードバトラーとしての定め、それは環境、新システムなどにより果たされ続けて今と数世代前のカードでは全く比べ物とならないほどの差を生み出すでござやる

そこから導き出される答えは弾とまゐるは過去の人間という事でござやる」

「、、？」

よかわかんないや、でも、俺たちは未来に来ちゃったって事なんだよな？」

「左様、だが一つ分からぬことがある

拙者は全ての大会の記録に目を通してきたつもりでござる

であるが、『馬神弾』や『ヴィオレまる』、『兵藤剣蔵』なる者達を一度たりとも見た記憶がないでござる

これは一体どういう、」

「まあ難しい話は後だ、兼続たちのバトルが始まるぞ」

兼続VS剣蔵、このバトルは剣蔵の先攻で幕を開けるのであった

第7話 ソウルバースト

【ターン01】

「では、僕から行かせてもらいます

スタートステップ！ドローステップ、メインステップ！

ネクサス、颯風高原を配置

ターンエンドです」

『剣蔵』

颯風高原 レベル1、0個

手4、ラ5、リ1S、ト3

【ターン02】

「颯風高原か、、、厄介なネクサスだ

俺のターン、スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、メ

インステップ！

異牙忍ラッパンサーを召喚する

アタックスステップ、異牙忍ラッパンサーでアタック！

ラッパンサーのバトル時効果、ボイドからコア1個をこのスピリッ

トに置く

これによりレベル2にアップ！

更にソウルコアがリザーブに置かれている時、ラッパンサーはBP

プラス4000、合計7000だ!!」

「ソウルコア？

でもいいでしょう、ライフで受けます！」L5↓4

「ターンエンドだ」

「ソウルコアってなんだ？」

弾はすかさず幸村に問いかける

「ソウルコアってのはそれぞれのプレイヤーが初めから1個だけ持つ

ている特別なコアなんだ

それを必要とする効果もたくさんあるし、ボイド、ライフに置かれ

ない重要な要素となる」

「この時代にはそんなものまで、、、

負けるな！剣蔵！！」

『剣蔵』

颯風高原 レベル1、0
手4、ラ4、リ2S、ト3

『兼続』

異牙忍ラツパンサー レベル2、2、BP7000 疲
手4、ラ5、リ1S、ト3

【ターン03】

「メインステップ、まずはガブノハシを召喚、颯風高原の効果によりガブノハシの【暴風1】によりボイドからコア1個をガブノハシに追加
更にもう1体ガブノハシを召喚

同じく颯風高原により1個コアを追加

更にマジック、スピードスターを使用

アタックステップ、ガブノハシでアタック!!」

「ライフで受けよう」 L5↓4

「スピードスターの効果、ボイドから2個コアをリザーブに

更にもう1体のガブノハシでアタックです!!」

「もう1度ライフで受けよう」 L4↓3

「同じくスピードスターの効果で2個コアをリザーブに

ターンエンドです」

「暴風とスピードスターによるコアブーストか、ハイランカーを名乗るだけはあるという事か」

「まだまだこんなものじゃないですよ」

『剣蔵』

ガブノハシ レベル1、1個S、BP1000 疲
ガブノハシ レベル1、1個、BP1000 疲

颯風高原 レベル1、0

手2、ラ4、リ4、ト6

『兼続』

異牙忍ラツパンサー レベル2、2、BP7000 疲
手4、ラ3、リ3S、ト3

【ターン04】

「メインステップだ

異牙忍ラツパンサーをレベル1にダウンし、もう1体召喚
更にバーストをセット!!」

「バースト!？」

「なんですかあの伏せカードは!？」

幸村は弾達が聞いてくる事を見越し説明を開始する

「バースト、1ターンに1度だけ伏せることが出来るカードなんだ

その発動条件は様々だが、発動する時はコストを支払わずに発動出来るカードなんだ」

「バーストか、、、読みが外れると命取りになりかねない正しく『畏』つてことだな、、、」

「アタックステップ、ラツパンサー2体でアタック!!」

それぞれのバトル時効果により2個コアをこのスピリット上に」

「どちらもライフで受けます!!」 L4↓2

「ターンエンドだ」

『剣蔵』

ガブノハシ レベル1、1個S、BP1000 疲

ガブノハシ レベル1、1個、BP1000 疲

颯風高原 レベル1、0

手2、ラ2、リ6、ト6

『兼続』

異牙忍ラツパンサー レベル2、2、BP7000 疲

異牙忍ラツパンサー レベル2、2、BP7000 疲

手4、ラ3、リ3S、ト3、バ有

【ターン05】

「メインステップ!」

(あのバーストと言う伏せカードが気になるけど僕には!!)

「剣舞え、白い牙を向け!緑の戦士の力をここに!!」

剣王獣ビャク・ガロウをここに召喚!!

颯風高原により2個コアを追加しレベル2にアップ

更にもう1体ビヤク・ガロウを召喚!!

颯風高原により2個コアを追加しこちらもレベル2にアップ!

「Xレアを2体同時召喚か

だが貴様の手札は1枚、このターンで俺を倒しきれなかった時が最後だ!」

「まだ終わりじゃないですよ

マジック、ハンドリバースを使用

手札を全て捨てる効果ですが僕の手札は0枚

そしてあなたの手札は3枚なので3枚ドロースせてもらいます」

「なに!?!」

「アタックステップ、剣王獣ビヤク・ガロウでアタック!!」

「フラッシュユタイミング!

マジックで分身転化!!

コスト4以下のスピリット、即ち、ガブノハシ2体を疲労させる

不足コストはラップンサー2体より確保する

そしてそのアタック、ライフで受ける!!」L3↓2

「ビヤク・ガロウのアタック時効果、リザーブのコアをトラッシュユに

これによりラップンサー2体を手札に戻します」

「だが!!

ライフ減少によりバースト発動!!」

「うっ!」

「バースト効果によりビヤク・ガロウを疲労

そして召喚だ!!

風魔頭首シノビオウ!!」

「バースト、、、そう言うシステムですか

ターンエンドです」

『剣蔵』

ガブノハシ レベル1、1個S、BP1000 疲

ガブノハシ レベル1、1個、BP1000 疲

剣王獣ビヤク・ガロウ レベル2、4個、BP9000 疲

剣王獣ビヤク・ガロウ レベル2、4個、BP9000 疲

颯風高原 レベル1、0
手3、ラ2、リ0、ト9

『兼続』

風魔頭首シノビオウ レベル3、8個、BP12000
手4、ラ2、リ0、ト4

【ターン06】

「メインステップ、残りのコアを全てシノビオウに追加
ターンエンドだ」

『剣蔵』

ガブノハシ レベル1、1個S、BP1000疲
ガブノハシ レベル1、1個、BP1000 疲

剣王獣ビヤク・ガロウ レベル2、4個、BP9000 疲
剣王獣ビヤク・ガロウ レベル2、4個、BP9000 疲

颯風高原 レベル1、0
手3、ラ2、リ0、ト9

『兼続』

風魔頭首シノビオウ レベル3、13個S、BP12000
手4、ラ2、リ0、ト0

【ターン07】

「行きます！」

ガブノハシ2体をレベル2にアップ
アタックステップ、剣王獣ビヤク・ガロウでアタックです!!」

「フラッシュタイミング、シノビオウの効果発動!!」

このスピリットのコアを2個、又はソウルコア1個をリザーブに置
くことで相手のスピリットを疲労させる

ソウルコアをリザーブに置きビヤク・ガロウを疲労」

「くっ、でもビヤク・ガロウのアタックは生きています!!」
「まだだ！」

フラッシュタイミングでもう2度効果発揮

合計4個をリザーブに置くことでガブノハシ2体を疲労させる!!
更に続けてフラッシュタイミング!!

【ソウル神速】発揮!!

今こそいでよ、我が愛の化身!!

烈風忍者キリカゲ、推参!!

そのアタックはシノビオウでブロックだ!!」

「まだです!

フラッシュタイミングでマジック、スピードスターを発動

ビヤク・ガロウにBPプラス3000、合計BP12000です!!」

ビヤク・ガロウとシノビオウが激しくぶつかり合い、お互いをお互いが貫き両者破壊された

「ビヤク・ガロウ!!

ターンエンドです」

『剣蔵』

ガブノハシ レベル2、3個S、BP5000 疲

ガブノハシ レベル2、3個、BP5000 疲

剣王獣ビヤク・ガロウ レベル2、4個、BP9000 疲

颯風高原 レベル1、0

手3、ラ2、リ8、ト2

『兼続』

烈風忍者キリカゲ レベル2、3個、BP10000

手4、ラ2、リ9、ト1S

【ターン07】

「メインステップ!!

まずはバーストをセット

更にキリカゲにソウルコアを追加、レベル3にアップ

アタックステップ、烈風忍者キリカゲでアタックだ!!

吹けよ風、巻き起これ嵐!轟け、愛の雄叫び!ソウルバースト、発動!!

マジック、双身転化!!

バースト効果により疲労があるが貴様のスピリット全ては疲労している

だが、【起導】により発動していた時、手札にある系統、【忍風】を

持つスピリット2体までをノーコストで召喚できる!!

現れよ、忍將軍クロハガネ、大地の忍ダイビートを共にレベル2で召喚!!」

「ソウルバースト、なんて恐ろしい効果なんでしょう、、

でも、勝つのは僕です!!

フラッシュタイミングでマジック、ソーンプリズンを使用
相手は相手のスピリット2体を疲労させてください

よってダイビート、クロハガネを疲労させる!!

これであたの手札にあるカードはラッパンサー2枚のみ
なので、ライフで受けます」L2↓1

「ターン、、エンドだ、、」

『剣蔵』

ガブノハシ レベル1、1個S、BP1000 疲

ガブノハシ レベル1、1個、BP1000 疲

剣王獣ビヤク・ガロウ レベル2、4個、BP9000 疲

颯風高原 レベル1、0

手3、ラ1、リ9、ト2

『兼続』

烈風忍者キリカゲ レベル3、5個、BP13000 疲

忍將軍クロハガネ レベル2、3個、BP12000 疲

大地の忍ダイビート レベル2、3個、BP12000 疲

手2、ラ2、リ1、ト1S

【ターン08】

「僕はメインステップはなにもしません

アタックステップ、ガブノハシでアタック!」

「くっ、、ライフで受ける、、」L2↓1

「ビヤクガロウ、とどめだ!!」

「くそう、ライフで受ける!!」L1↓0

第8話 新たな力へ

バトルを終えた兼続と剣蔵は熱く握手を交わした

「ソウルバーストにソウル神速ですか、」

恐ろしい効果が幾つもあるんですね、ここには」

「なるほど、いいバトルだった

今後の課題も多く見つけることも出来た」

「それは良かったです

お互い緑の使い手として頑張りましょう」

「うむ」

弾はバトルを終えたのを確認すると直ぐにフィールドに降りる

「剣蔵、お疲れ

俺、見てて感動しちゃった

おじさんも凄く強かったよ

あと一歩だったんだけどな」

「おじさん、」

おじさんはやめてくれ」

「そうですね、弾君、兼続さんに失礼ですよ」

「あはは、ごめん

でも、本当に強かったよ

ソウル神速にソウルバーストかあ、」

俺もバトルしてみてえ！」

兼続はうずうずとした弾を見て苦笑すると彼の頭にポンつと手を置く

「いずれまた機会があればな

俺はこの後用があるので失礼する」

兼続はそう言い残しフィールドを後にした

その後弾達は幸村に連れられ近くにあるカードショップを訪れた

「カードショップじゃないか！

わあっ!!色んなカードがある!!

こんなやつ見たことないや、こっちも、あっちも!!」

子供のようにはしやぐ弾を遠くから幸村達は見守る

「はしやぎすぎ、」

でも、本当に見たことないカードが沢山」

「ははは、」

今日はお前達にもこの時代のデッキを組んで貰おうと思ったんだ
多分今のデッキに思い入れも強いだろうけど、」

と幸村がそこまで言いかけて弾に目をやると弾は既に店員を呼び
カードを選択しているところであった

「と思ったけど、心配無用だったか」

「みたいでござやるな」

「じゃ、私もちよつと見てくる」

まるもそう言うのと幸村達を置いてショーケースに並ぶカード達を
眺め始めた

「やはりここに連れてきて正解だったでござやるな

どの時代でもカードバトラーは新たなカードに呼ばれるもの

この姿は弾とまるが真のカードバトラーと言う証」

「そうだな

この調子なら全力で弾とバトル出来そうだな」

「同じ赤属性の使い手

油断大敵でござやる」

弾は店員よりカードを受け取り、幸村達のところに戻る途中でふと
足を止めた

先程までカードに目を奪われていた為気づかなかったが、先程まで
弾が見ていたショーケースの隣を真剣な眼差しで、だが人一倍輝いた
瞳でカード達を見つめる少年に目が止まったからである

「凄い凄い凄い！

こんなXレア見たことない!!

あれも、これも！」

「そこにいるの、もしかして硯か!？」

弾の声を聞き先程までカードを見つめていた少年が振り返る

「その声、もしかして弾君!？」

よかった、ようやく知ってる人に出会えた!!」

深海を思わせる青き髪の少年『硯 秀人』は安堵の息を漏らした

「よかった、やっぱり硯もこの時代に来ていたんだな」

「この、、、『時代』?」

弾はここに来るまでの経緯を硯に説明する硯は納得いったと頷いた

「どうりで見た事ないカード達がこんなにあつたんだ」

「ああ、ところで硯も1人か?」

弾は辺りを見渡しながら他に人がいないかを探す

「うん、途中までみんなを探していたんだけど、無闇に動き回るのは危険だからカードショップにいれば誰かと会えるんじゃないかって思っ、」

「そっか、もしよかつたら俺達とこないか?」

この時代で知り合った人に色々教えて貰ってるんだ」

「えっ?」

でもいいの?」

硯が不安気に弾に問うと、弾の背後から当たり前だと幸村が答えた
幸村は弾が彼と話し込んでいるのを見て様子を見に来ていたのである

「弾の友達なら俺達とも友達だからな」

「あ、ありがとう」

ええっと、君は、、、」

「俺は烈火幸村だ」

よろしく」

「硯秀人です」

よろしく」

その後、弾に続きまゐ、剣蔵、硯も欲しいカードを買い揃えると幸村達に連れられてとあるビルへとたどり着いた

「ここは?」

「ここは佐助の父親の空きビルらしく、今は俺たちが使わせて貰ってるんだ」

「ああ、もしよかったら弾達も泊まっけてよ」

「いいのか!？」

「勿論だとも!!」

「ええつとまるもそれでいいか？」

「みんなとは違う部屋ある？」

「まるは不安気に問いかけると佐助は元気よく返事を返した

「あるさー!」

「そうして弾達4人は佐助達の秘密基地として使用しているビルに泊まることが決まったのであった」

第9話 海と光の邂逅

「どうしてこうなった、」

why、、、 why!?!」

太陽の光を受け黄金に輝く髪の少年『クラツキー・レイ』は海辺の町を駆け抜けていく

そしてその背後を沢山の青きスカジャンを纏った青年、女性達が鬼の形相で追いかけている

ここまで至った経緯はそれほど難しくはなかった

クラツキーがこの時代にやってきたのはかれこれ数日前

弾達と同窓会を行っていた筈が、気がつけば潮風の香る海辺の町に立っていた

「ここは、、、?」

クラツキーは周囲を冷静に見渡す

だが、やはり初めて訪れた町、見たことのない風景がそこには広がっていた

「グラン・ロロ、、、ではなさそうだね、、、

ここはいつたい、、、」

そこでふとクラツキーは小さな店のショーウィンドウに並べられたカード達に目が止まる

「これは、、、っ!」

バトルスピリッツじゃないか!?

しかも今までに見たことのないカードがこんなにも!

このカードは欲しいな!!」

クラツキーが数枚のカードを購入し、カードを眺めながら町を散策する

「おい、お前っ!!」

ふいに声をかけられクラツキーは慌てて振り返る

そこには青きスカジャンを纏った海色の髪の女性が立っていた

「貴様、見ない奴だな

何者だ!?!」

「僕はクラツキー・レイ

ただ、人に名を訪ねる時は自分から名乗るものじゃないかいレディ？」

「ふん、自分は群青早雲

ここは私達の縄張りだ

何の目的があつてここにきた」

「縄張り、、、？」

随分と野蛮な事をしているんだね」

クラツキーはそう言いながら膝をつき早雲の手を取る

「そんなもの捨てて僕と遊ばないかい？」

きつと楽しいよ」

「くっ、、、！」

取られた手を振り払うと早雲は頬を少し赤らめる

「貴様っ!!」

「おおっと、怖がらなくていいよ

僕は光の貴公子、全ての可愛い女の子の味方さ」

「かつ、、、可愛い、、、だと!？」

ふぎけるなっ!!」

「ふぎけてなんていないさ

早雲、君は十分に可愛いよ

ただ、君はきつと怖がつているだけなのさ」

「なっ!!」

クラツキーは何処からともなく花束を取り出すと早雲にそつと手渡す

「怖がらなくて平気さ

さ、僕の手を取ってくれたまへ」

更に赤みを増す早雲の顔、そして恥ずかしさから少し震える

「、、、いいだろう、、、」

「わかつてくれてよかった」

「そこまで自分を愚弄するとあれば、こいつで雌雄を決する!!」

そして取り出したのは青のデツキケースであった

「NO！」

「そういう事じゃ、」

「問答無用だ!!」

「付いて来い!!」

「のおおおおつ!!」

そうして早雲に引きずられながらたどり着いたのは近くにあるスタジアムであった

そのフィールドに投げ捨てるように放られたクラツキーは顔を勢いよくぶつける

「痛たたつ、」

「全く強引なんだね」

「貴様もカードバトラーなのだろう!？」

「さっさと準備をしろ！」

「OK、なら僕が勝ったらちゃんと言話を聞いて貰うよ」

「海神丸、招来!!」

早雲の掛け声と共に青きイルカのような形の機械が姿を現した
「つとになると、こっちの機械を使えばいいんだね」

2人が機械の上に立つと同時に2機はゆっくりと浮上する

「行くよ！」

「参る！」

「ゲートオープン、界放!!」

第10話 天使の舞、潮風と共に

【ターン01】

「先攻は自分だ」

スタートステップ、ドローステップ、五聖童子を召喚
ターンエンドだ」

『早雲』

五聖童子 レベル1、1個S、BP3000
手4、ラ5、リ0、ト3

【ターン02】

「さあ行くよ！スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、メ
インステップ！

生還者天使メール、天使ウイズエルをレベル1で召喚、ソウルコア
はメールに

ターンエンドだよ」

『早雲』

五聖童子 レベル1、1個S、BP3000
手4、ラ5、リ0、ト3

『クラツキー』

生還者天使メール レベル1、1個S、BP2000
天使ウイズエル レベル1、1個、BP1000

手3、ラ5、リ0、ト3

【ターン03】

「自分のターンだ、メインステップ、ネクサス、千間観音堂を配置
五聖童子をレベル2にアツプ

ターンエンド」

『早雲』

五聖童子 レベル2、2個S、BP4000
千間観音堂 レベル1、0個
手4、ラ5、リ0、ト3

『クラツキー』

生還者天使メイル レベル1、1個S、BP2000
天使ウイズエル レベル1、1個、BP1000
手3、ラ5、リ0、ト3

【ターン04】

「僕のターンだ、メインステップで天使令嬢アサエルを召喚
ターンエンドだよ」

（青のネクサスカ、、）

早いうちに手を打たなくては取り返しが効かなくなる、、）

『早雲』

五聖童子 レベル2、2個S、BP4000

千間観音堂 レベル1、0個

手4、ラ5、リ0、ト3

『クラッキー』

生還者天使メイル レベル1、1個S、BP2000

天使ウイズエル レベル1、1個、BP1000

天使令嬢アサエル レベル1、1個、BP4000

手3、ラ5、リ0、ト3

【ターン05】

「メインステップ、五聖童子をレベル1にダウンし行くぞ！

潮は満ち、今こそ出でよ、大海の王！ 聖なる蒼き御名おんなの元

に！天地万物・森羅万象、一切合切飲み尽くせ！ 蒼海明王、降臨！」

「早くもお出ましの様だね、君のキースピリットが」

「更に五聖童子のコアを外し千間観音堂をレベル2にアップし、バーストをセット

アタックステップ、蒼海明王でアタック！

アタック時効果、貴様のデッキの上から7枚破棄する」

『破棄』

ネオ・ドリームリボン

アルティメット・ミカフアール

星霊杖スピカ

生還者天使メイル

星見の観測所

ドリームバブル

アルティメットプラズマ

「あぁっ!!」

ミカファール、メール!!」

「ただだ、ネクサス、千間観音堂のレベル2の効果により更に5枚破棄」

『破棄』

戦国姫茶亞琉

エレメンタルバーン

アルティメットヴァリエル

生還者天使メール

ドリームバブル

「くっ、茶亞琉、ヴァリエル、メール、、、」

「まだ出会って間もないと言うのに別れるなんて悲しすぎる、、、」

「千間観音堂の効果で蒼海明王はBP7000だ!」

「くっ、、、ライフで受ける!」 L5↓4

「ターンエンドだ」

『早雲』

蒼海明王 レベル1、1個S、BP5000 疲

千間観音堂 レベル2、1個

手3、ラ5、リ0、ト3、バ有

『クラツキー』

生還者天使メール レベル1、1個S、BP2000

天使ウイズエル レベル1、1個、BP1000

天使令嬢アサエル レベル1、1個、BP4000

手3、ラ4、リ1、ト3

【ターン06】

「でも僕はまだ諦めない!」

メインステップ!

天使ウイズエルの【スピリットソウル・黄】発揮、黄色のシンボル

を追加

優雅に舞え！戦いの化身！

アルティメット・イスフィールをレベル3で召喚！

「アルティメットだと!?!」

「更にウイズエルのコアを使ってメールをレベル2にアップ

アタックステップ！

アルティメット・イスフィールでアタック！

アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガー』

天秤星凱ブレイヴ・リブラ

「ヒット！」

これにより手札のマジック、デーバ・メドレーをノーコストで使
用

蒼海明王をデッキの下に戻す」

「くっ、蒼海明王！」

「更にメールの効果、イスフィールと名のつくアルティメットがア
タックした時、デッキから2枚ドローできる」

「くっ、ライフで受ける

だが、ライフ減少によりバースト発動！

No. 20 キャピタル・キャピタルを配置

このネクサスの効果によりソウルコアの置かれていないスピリッ
ト、アルティメットがアタックする時、リザーブのコアを1個トラッ
シュに置かなくてはアタックできない」

「やってくれるね

ターンエンドだよ」

『早雲』

千間観音堂 レベル2、1個

No. 20 キャピタル・キャピタル レベル1、0個

手3、ラ4、リ2S、ト3、

『クラッキー』

生還者天使メール レベル2、3個、BP3000

天使令嬢アサエル レベル1、1個、BP4000

アルティメット・イスフィール レベル3、1個、BP11000
疲

手4、ラ4、リ0、ト3

【ターン07】

「ふん、どんな敵が来ようと海に沈めるまで」

「本当に君は可愛らしいよ」

「なっ!!」

バトルの最中でさえ自分を愚弄するか!」

「本当に君に近づこうとする人を遠ざけ、自分を守ろうとする姿

でも僕は君のその心の壁を必ず打ち砕く!」

「ほざけ!」

このバトルに勝利するのは自分だ!

このターンで貴様を深淵に沈めるまで

メインステツプ!

緑鳥童子を召喚、更に千間観音堂をレベル1にダウンしネクサス暁の寺院城アルンを配置、そして!

蒼き海原の底、深き眠りより、いざ解き放たれん!

蓮華王センジュをレベル2で召喚!

緑鳥童子のコアはセンジュに移動、更にバーストをセット!

アタックスステツプ蓮華王センジュ、攻めろ!

母なる海よ、大いなる海原よ、今こそその猛き姿を現せ!ソウル

バースト発動!

観音千撃掌!

ソウルバーストの効果でアサエルを破壊!

更にセンジュが【起導】を発動した時、合計コスト10まで相手のスピリット、アルティメットを破壊出来る!

蒼き深淵に沈め!

イスフィール、メール!!」

「ああっ!!」

イスフィール!!

「だけど、メイルは生き残る者、生還者をもっているよって効果で破壊されない!!」

「くっ、」

「だが、センジュはネクサスカード1枚につき青のシンボルが増えるよってクアトロシンボルだ!」

「フラッシュユタイミング!」

マジック、デルタバリアを使うよ!

「不足コストはメイルをレベル1にダウンするよ
すまない、メイル、」

「そしてそのアタックは僕が受ける!!」L4↓1

「デルタバリアの効果により僕のライフはコスト4以上のスピリットでは減らせないよ」

「くっ!!」

「なぜだ、なぜ沈まない!」

「ターンエンドだ」

『早雲』

蓮華王センジュ レベル2、2個、BP12000

千間観音堂 レベル0、0個

No.20 キャピタル・キャピタル レベル1、0個

暁の寺院城アルン レベル1

手3、ラ4、リ2S、ト3、

『クラツキー』

生還者天使メイル レベル1、1個S、BP3000

手3、ラ1、リ3、ト7

【ターン08】

「僕はこのターン君に勝利する!」

「僕の正しさを証明する為に!!」

メインステップ!

再び戦場を舞え!優雅なる化身よ!!

大天使イスフィールをレベル2で召喚!

天使メイルをレベル2にアップ

アタックステップ、天使メイルでアタック！」

「くっ、ライフで受ける」 L4↓3

「まだまだ行くよ！」

大天使イスフィールでアタック！

イスフィールの効果、手札のマジックカードをコストを支払わずに使用できる

よってマジック、ペガサスフラップを使用」

「くっ、、ライフで受ける」 L3↓2

「イスフィールの効果、【聖命】発動！」 L1↓2

「だが、アタック出来るスピリットはもう貴様にはいない！」

「僕は必ずここターンで勝利してみせる

ペガサスフラップの効果でイスフィールは回復する

もう1度イスフィールでアタック！

そしてマジック、イエローリカバーをノーコストで使用！

これによりイスフィールは回復する！」

「そんな、、馬鹿な!？」

ライフで受ける!!」 L2↓1

「イスフィールの【聖命】発動!!」 L2↓3

「なぜ貴様はそこまで!？」

「それは僕は嘘をつかないから

自分を偽って目をそらしたりしないからじゃないかな？

ラストアタックだ、イスフィールでアタック!!」

「そうか、、自分は、、っ!!」

ライフ受ける!!」 L1↓0

第11話 戦いを呼ぶ者

バトルを終えクラツキーは再び早雲の前に膝をつく

それに対し早雲は顔を伏せ影でその表情を伺い見ることは出来ない

「顔を上げてくれたまへ

僕は君に本当の笑顔を見せて欲しいんだ」

「クラツキー・レイ、、、」

「貴様、どこまで、、、」

「僕はどこまでも本気だよ

君は可愛らしいし、笑顔を見たいと言うのも本当だよ」

そう言いながらクラツキーは早雲の手の甲に口付けをし、じつと早雲の顔を見つめる

だが早雲は無言のまま体制を180度変えクラツキーに背を向け小さく息を吐くとぐつと拳を固く握り締める

「自分は海だ

海は静かに流れを産み、あらゆるものを飲み込むものと思っていた
だが、海を愛するものもいるということか、、、」

早雲が何処か納得したような口調で語るなか、彼女と同じくスカジャンを身に纏った青年女性がその場に駆けつける

「姫！

「ご無事ですか!」

「あ、ああ、、、」

心配かけてすまない、、、」

そして最前列にいた男が早雲の顔を見るや否やクラツキーを睨みつける

「貴様!

「姫に何をした!」

「いや、僕はなにも、、、」

危険を察知したクラツキーは顔色を変え、慌てて方向を変えて駆け出す

「ゆるさあぁあぁん！」

貴様、何をしたっ!!」

「のおおおおっ!!」

そしてクラツキーは彼等に追い掛け回されることとなったのであった

一方その頃、ここは真つ暗な場所

何処かは分からないこの場所に突如光の扉と共に勇貴は現れた

「ここはどこだ、？」

何も見えない、か、

でも、グラン・ロクを経験すると大抵の事には動じなくなる様だね」
慌てる素振りもなく苦笑する勇貴は冷静に辺りを見渡すが何も見えない

「貴様、何者だ」

低くドスの効いた様な声が勇貴に問いかける

「ふん、人にものを訪ねるのなら姿ぐらいは見せたらどうかかな？」

すると真つ暗だったその場に突然ろうそくが灯り視線の先に仮面をつけた男が立っていた

「我は第六天魔王

バトスピで天下を支配する者だ

貴様は何者だ、なぜここにいる？」

「支配とは穏やかではないみたいだ

俺は百瀬勇貴、コアの光主と呼ばれていた

なぜここにいるかは俺にも分からない」

薄い青みがかかった髪的青年『百瀬 勇貴』と第六天魔王がにらみ合う

第六天魔王は勇貴の何処か神秘的な雰囲気を感じ取り何処か納得した様になる

「ふむ、なるほど、貴様が『コアの光主』か、

やはり奴の言っていたことは本当だったようだな
ならば話が早い」

「何を言っている?」
にやりと怪しく笑む第六天魔王は勇貴の肩を掴み、そして、

第12話 猿面軍団

翌日

晴れ渡った青空のした、事件は突然起こったのであった
買い物をする為街を訪れた弾達をスケートボードを駆り街を縦横
無尽に駆け回る猿の覆面をした集団『猿面軍団』が彼らを囲う

「こいつらはっ！」

「猿面軍団か!!」

「猿面軍団?」

「こやつらはかの第六天魔王の配下の『真白 藤吉郎』のグループ
以前街を荒らして回った悪党でござやる!」

環奈の説明を聞いた弾はキツと猿面軍団を睨みつける

「うききっ!そんな怖い顔をすんなよ!」

今日はお前達に会わせたい男がいるだけだからな」

彼等の奥から1人服装の違う猿顔の男『真白 藤吉郎』が姿を現し
た

「会わせたい男?」

「厳密にはそこにいる『激突王』さんに」

「俺のことを知っているのか!?!」

この時代に来て環奈に言われた通り誰も自分の事を知る者はいな
かった

だが、この真白 藤吉郎という男は何故だか分からないがどうやら
自分の事を知っている様子であり弾は驚きを隠せなかった

「うききっ!」

さあ、俺っちと来るか決めな!

ま、来ないって言っても無理やり連れて行くけどな!」

思考する弾に対して幸村が一步前に入る

「断る!」

第六天魔王の手下を信用なんて出来ない!

もし連れて行くって言うなら!!」

そう言いながら幸村は腰に付けたデツキケースを取り出す

その行動を見た藤吉郎はニヤリ笑むと同じくデッキケースを取り出した

「そういうのは嫌いじゃない

俺っちが相手に、、、」

「待て」

藤吉郎が臨戦態勢に入ろうとしたその時、猿面軍団の奥から更に薄っすらと青みがかかった髪的青年『百瀬 勇貴』が姿を現した

「うきっ！」

「どうして勇貴様が!?!」

「勇貴様!?!」

「なに、ちよつと面白そうな事になっている様な気がしたんでね、、、

そのバトル、俺が引き受けよう」

突然現れた勇貴に驚きを隠せない弾は勇貴に駆け寄り胸ぐらを掴む

「どういうことだよ勇貴!

お前、何してんだよ!?!」

「ふん、相変わらずだね、君は、、、

君には関係ない事だ

下がっている」

勇貴はそう言いながら掴まれた手を振り払い、幸村へと対峙する

「連れて行くっていう目的はもう達成してしまっただけ、俺とのバトル、受けてくれるよね?」

「当たり前だ!」

なら俺が勝ったら第六天魔王のところへ連れて行って貰う!

来い! 轟天龍!」

「なら俺っちの白天号よ来い!」

幸村、藤吉郎の呼びかけに応じ2機のバトルマシンが姿を現した
「勇貴様、どうぞお使いください」

「すまないね

では、始めよう!」

「ゲートオープン、界放!!」

光が長方形に広がりバトルフィールドを作り出し幸村と勇貴が対峙する

第13話 白の戦士

【ターン01】

「先攻は君からどうぞ」

「いくぞ、スタートステップ、ドローステップ、メインステップ！

マジック、龍魂乱舞を使用

デッキから5枚をオープン」

『オープンカード』

儼武将ヒョウジンドラゴン

陀武竜ドロー

炎龍刀オニマル

ドラマル

双翼乱舞

「その中の系統【武竜】を持つスピリット1枚を手札に加え残りはデッキの下に置く、来いドラマル！

続けてドラマルを召喚しバーストをセット！

ターンエンド」

『幸村』

ドラマル レベル1、1S、BP1000

手3、ラ5、リ0、ト3

【ターン02】

「スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、メインステップ
白き鉄壁城塞、機巧武者サイウンをレベル2で召喚

サイウンは系統【機巧】を持つスピリットにBPプラス3000、
よって7000となる

ターンエンド」

『幸村』

ドラマル レベル1、1S、BP1000

手3、ラ5、リ0、ト3、バ有

『勇貴』

機巧武者サイウン レベル2、2S、BP7000

手4、ラ5、リ0、ト3

【ターン03】

「ドローステップ！よし、メインステップ！

マジック、一発必中ドローを使用

5枚をオープンし【覚醒】【真・激突】【一騎打】【連刃】【無限刃】のどれかを持つスピリットを1枚手札に加え、残ったカードはデッキの下に」

『オープンカード』

陀武竜ドロー

儼武将ヒョウジンドラゴン

ソウルドロー

ジンライドドラゴン

一発必中ドロー

「来い、ジンライドドラゴン！

そしてジンライドドラゴンを召喚し、ドラマルのソウルコアをチェンジ

アタックステップ、ジンライドドラゴンでアタック！

アタック時効果でBPプラス3000しBP6000に、更にソウルコアがこのスピリットに置かれている時、【真・激突】を得る！」

「ならば、サイウンでブロック」

ジンライドドラゴンとサイウンがぶつかり合うが、ジンライドドラゴンが破壊される

「だが！

バースト発動！マジック、武将転生!!

このバースト発動時に破壊された系統【武竜】を持つスピリットを1枚再召喚できる

戻ってこい、ジンライドドラゴン！

そしてジンライドドラゴン、ドラマルで連続アタック！

「どちらもライフで受ける」L5↓3

「ターンエンド」

『幸村』

ドラマル レベル1、1、BP1000疲

ジンライドラゴン レベル1、1S、BP3000疲

手3、ラ5、リ0、ト3

『勇貴』

機巧武者サイウン レベル2、2S、BP7000疲

手4、ラ3、リ2、ト3

【ターン04】

「なるほど、君のバトルを見ていると彼を思い出す

メインステップ、源氏八騎 源太、源氏八騎 日数デイフェンダー
をそれぞれレベル2で召喚

源太は源氏の数につきBPプラス3000、合計6000を加える

更にバーストをセット

ターンエンドだ」

『幸村』

ドラマル レベル1、1、BP1000疲

ジンライドラゴン レベル1、1S、BP3000疲

手3、ラ5、リ0、ト3

『勇貴』

機巧武者サイウン レベル2、2S、BP7000

源氏八騎 源太 レベル2、2、BP11000

源氏八騎 日数デイフェンダー レベル2、2、BP9000

手2、ラ3、リ0、ト2、バ有

【ターン05】

「メインステップ、まずはジンライドラゴンのソウルコアをチェンジ
続けてマジック、ソウルドロー！

ソウルコアをコストとして支払っているので3枚ドロー

更にマジック、龍魂乱舞！」

『オープンカード』

陀武竜ドロー

ドラマル

絶甲氷盾

絶甲氷盾

剣武竜ムラマサドラゴン

「来い、ムラマサドラゴン！」

更にバーストをセット、ターンエンド」

「この時、サイウンの効果が発揮

自分のライフが減らされていない時、ボイドから1個コアをこのスピリットに置き、更にソウルコアがこのスピリットに置かれている時は更に2個追加する」

『幸村』

ドラマル レベル1、1、BP1000

ジンライドラゴン レベル1、1S、BP3000

手6、ラ5、リ0、ト4、バ有

『勇貴』

機巧武者サイウン レベル3、5S、BP9000

源氏八騎 源太 レベル2、2、BP11000

源氏八騎 日数ディフェンダー レベル2、2、BP9000

手2、ラ3、リ0、ト2、バ有

【ターン06】

「メインステップ、サイウンをレベル1にダウン、そして！

聳えよ、美しき鋼の城！」

鉄騎皇イグドラシル、レベル3で召喚！

召喚時効果によりBP3000以下のスピリット、即ちドラマル、

ジンライドラゴンを手札に戻す」

「くっ！」

だがその召喚時効果発揮により、バースト発動！

マジック、双翼乱舞！

デッキから2枚ドローする」

「アタックステップ、イグドラシル、ディフェンダーでアタック！」

「ライフで受ける!!」L5↓3

「ターンエンド」

『幸村』

手9、ラ3、リ4、ト4、バ有

『勇貴』

機巧武者サイウン レベル1、1、BP6000

源氏八騎 源太 レベル2、2、BP11000

源氏八騎 日数デイフェンダー レベル2、2、BP9000

鉄騎皇イグドラシル レベル3、4S、BP9000

手2、ラ3、リ0、ト2、バ有

【ターン07】

「ドローステップ、、！」

(来たか！)

「なにか大きな力が加わった様だね」

「いくぜ！メインステップ！」

ドラマルを2体、ジンライドドラゴン、剣武竜ムラマサドラゴンを連続召喚！

更にバーストをセット！

アタックステップ、剣武竜ムラマサドラゴンでアタック！

アタック時効果によりソウルバースト発動!!

燃え上がれ！熱き魂の龍よ！あらゆる炎を統べる、皇もなれ!!

召喚！戦国龍皇バーニングソウルドラゴン!!

ドラマル1体のコアを移動する

更に、この時トラッシュのコアを全てバーニングソウルドラゴンに移動、レベル3にアップ！

更にムラマサドラゴンの効果、バーストをセット！」

「この時にバースト発動！」

源氏八騎 楯無フォートレスをバースト召喚

不足コストはイグドラシルとデイフェンダーから1個ずつ補充しレベル2で召喚

そのアタックはフォートレスでブロック」

突如現れた楯無フォートレスに阻まれムラマサドラゴンは破壊された

「だが、バースト発動！」

武将転生！ムラマサドラゴンを再召喚！

そしてバーニングソウルドラゴン、【真・連刃】でアタックだ!!」

だが、バーニングソウルドラゴンは動こうとしない

それは指示がわからないと言わんばかりに

「君は嵌ったのだよ

イグドラシルの効果、自分の白のスピリット全てに【装甲、赤】を
与える

よって指定アタック出来なければ【真・連刃】は発揮しない」

「ぐっ!!」

だが、バーニングソウルドラゴンでアタック!!」

「フラッシュタイミング、マジック、ドリームリボンを使用

戻れ、バーニングソウルドラゴン」

「しまった!!」

白きリボンに巻かれバーニングソウルドラゴンは手札に戻される

「くそ、、、ターンエンドだ」

『幸村』

ドラマル レベル1、1、BP1000

ジンライドラゴン レベル1、1、BP3000

剣武竜ムラマサドラゴン レベル1、1、BP4000

手5、ラ3、リ6、ト0

『勇貴』

機巧武者サイウン レベル1、1、BP6000

源氏八騎 源太 レベル2、1、BP14000

源氏八騎 日数デイフェンダー レベル2、2、BP6000

鉄騎皇イグドラシル レベル2、3S、BP6000

源氏八騎 楯無フォートレス レベル2、2、BP13000

手1、ラ3、リ0、ト3

【ターン08】

「メインステップ!」

スピリット全てをレベル1にダウン

イグドラシルよ転召の礎となれ!

そして転召の渦より来れ白銀の翼！

翼神騎グラン・ウオーデンをレベル3で召喚！

アタックステップ、翼神騎グラン・ウオーデンでアタック！」

「ダブルシンボルか！」

ドラマルでブロック！」

グラン・ウオーデンに切り裂かれドラマルは破壊される

「続けてサイウンでアタック！」

系統【武装】の疲労により翼神騎グラン・ウオーデンは回復する」

「くそ！」

ライフで受ける！」L3↓2

「翼神騎グラン・ウオーデン、もう1度アタック！」

「ジンライドラゴン、頼む！」

だがこれ以上はやらせない！

フラッシュタイミング、マジックで絶甲氷盾を使用！

このバトル終了時、アタックステップを終了させる」

グラン・ウオーデンの砲台に撃ち抜かれジンライドラゴンは破壊された

「命拾いした様だね

ターンエンド」

『幸村』

剣武竜ムラマサドラゴン レベル1、1、BP4000

手4、ラ2、リ5、ト4

『勇貴』

機巧武者サイウン レベル1、1、BP6000疲

源氏八騎 源太 レベル1、1、BP13000

源氏八騎 日数デイフェンダー レベル1、1、BP6000

翼神騎グラン・ウオーデン レベル3、4S、BP10000疲

源氏八騎 楯無フォートレス レベル2、2、BP6000

手1、ラ3、リ0、ト4

【ターン09】

「メインステップ、イクサトカゲを2体召喚、更に

燃え上がれ、猛き龍よ！熱きその魂で天を切り裂く炎となれ！召喚、剣豪龍サムライ・ドラゴン・天、レベル2！

更にバーストをセツト！

アタックだ、ムラマサドラゴン！

アタック時効果によりソウルバースト発動！

再びいでよ、熱き魂の龍皇よ！

召喚！戦国龍皇バーニングソウルドラゴン！

トラッシュのコアはバーニングソウルドラゴンに移動！

フラッシュタイミング、サムライドラゴン・天の覚醒！

バーニングソウルドラゴンから1個を残し、イクサトカゲ2体とムラマサドラゴンからは全てのコアを天に移動、レベル3にアップ！」

攻撃を仕掛けたムラマサドラゴンはサムライドラゴン・天にコアを託し姿を消した

「アタックだ、サムライドラゴン・天！

【無限刃】により源太を指定アタック！

この時このスピリットは疲労しない！」

天に切り裂かれ源太は破壊される

【無限刃】によりサイウンを指定アタック！

フラッシュタイミング、天の効果で得たバーニングソウルドラゴン

の【覚醒】！

レベル3に再びアップ！」

源太に続きサイウンも天に切り裂かれる

「よし、バーニングソウルドラゴンでアタック！

アタック時効果、【真・連刃】！！

デイフェンダー、グラン・ウオーデンを指定アタック！

同時バトルだ！！

デイフェンダーとグラン・ウオーデンはバーニングソウルドラゴンに同時に切り裂かれる

「そしてこのバトルで破壊したスピリット、アルティメット1体につき相手のライフのコアを1個リザーブに置く」

「恐ろしいスピリットだよ、全く」L3↓1

「サムライドドラゴン・天でもう1度アタック！」

「楯無フォートレスでブロックだ」

天に切り裂かれフォートレスも破壊された

「ターンエンドだ」

『幸村』

戦国龍皇バーニングソウルドラゴン レベル3、5、BP220
00

剣豪龍サムライドドラゴン・天 レベル2、5、BP7000

手1、ラ2、リ0、ト1S

『勇貴』

手1、ラ1、リ10、ト4

【ターン10】

「この勝負、俺の勝ちの様だね

メインステップ！」

源氏八騎 源太を召喚、更に！

転召の渦を破り、降臨せよ新たななる翼!!

アルティメット・グラン・ウォーデン、レベル5で召喚！」

「このタイミングでアルティメットだって!？」

「アタックステップ、源太でアタック」

「ライフで受ける！」L2↓1

「続けてアルティメット・グラン・ウォーデンでアタック！」

アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガー』

イクサトカゲ

「ヒット！」

ヒットコスト分相手のスピリットを指定するが0の為指定はない
残ったカード全てをデッキの下に置く」

「そんな!!」

俺のスピリット達が、、

バーニングソウルドラゴン、、サムライドドラゴン・天、、」

呆然とする幸村に向かいアルティメット・グラン・ウォーデンは容

赦なく砲台を放った
「ライフで受ける、」 L1↓0

第14話 予期せぬ出会い

ライフを砕かれた衝撃が幸村を襲う

何とか吹き飛ばされないように轟天龍に掴まり耐えるも指先が滑り幸村は落下した

「幸村!!」

慌てて弾達は倒れた幸村に駆け寄る

「だ、大丈夫だ、、」

少し体を打っただけで、、」

「よかったでござる」

「すまないみんな、、くそっ!!」

地面に勢いよく拳を叩きつける幸村

それを見た弾はスツと立ち上がり勇貴を睨みつけた

「勇貴!!」

お前、何をしてるんだよ!?

なんでそんな奴らと一緒にいるんだ!?

「君には関係ないと言ったはずだ

もし君が知りたいと言うなら明日、戦国チャンピオンシップへと来るらしい

そこで君は知るだろう、俺たちがこの時代に呼ばれた理由を」

「俺たちが、、呼ばれた理由?」

やっぱり俺たちは呼ばれたのか?」

「その答えは明日だ

ではまた会おう」

勇貴はそう言い残しその場を後にし、それに続いて猿面軍団、藤吉郎もその場を後にした

「幸村、大丈夫か、、?」

呆然と立ち尽くす幸村の肩を軽く揺すり弾が問いかける

「そこでようやく我に帰った幸村は肩をがくりと落とす

「俺は、、負けたのか、、」

何が天下を取るだ、、あの勇貴ってヤツに敵わなかったのに、、」

「しつかりしろ烈火幸村!!」

落ち込む幸村の肩をしつかりと掴み弾は語りかける

「お前は確かに負けたかもしれない

でも、負けることは決して悪いことだけとは限らないだろう？

一番悪いことは倒れて立ち上がらないことだ

そうだろう？

1度負けたからなんだ、何度負けても何度でも立ち上がって勝利を目指せばいいだろう!?

俺もあいつには何度か負けた

いや、他にも沢山のバトラー達と戦い、そして負けた

でも、俺なら絶対に諦めない!

負けたままなんていられないからな!!

それにスピリットたちはきつと諦めていないはずだ!

だから信じるんだ、自分の、自分と共に戦うスピリットを!!」

「、、、そうだな

何を弱気になってるだよ、俺は、、、

信兄に言われたじゃないか

『強くなりたければ立ち上がれ、やられても、やられても立ち上がれ

立ち上がった分だけお前は前より強くなれる』ってな

手間をかせさせたな、弾

そうだよ、俺は何度でも立ち上がるしかないんだ」

そう言いながら幸村は手に握ったデツキケースを眺める

「よし、これから特訓だ!

明日のバトル、もう負けるわけにはいかないからな!」

そしてその後、弾、幸村、まる、剣蔵、硯は徹夜でバトルをするこ
ととなるのであった

そして翌日

戦国チャンピオンシップ決勝会場に多くの人々が押し寄せ

その中には弾達の姿もあり、全ての人々が開始の合図をまだかと待ち焦がれていた

そんな中、兜をかぶった隈取りメイクの男『MC小太郎』が巨大モニターに姿を現す

「皆の衆、あ待たせたな

今よりバトスピ全国大会、戦国チャンピオンシップの開幕ーと言いたいところであるが、本日は予定を変更し、我らがIBSA（International Battle Spirits Associationの略）の今大会運営委員長の天魔市より1つ、催し物があるようである」

そう言うともニターが切り替わり、黒髪の少女が大きく映し出された

「皆さん、こんにちは

IBSAの天魔市です

本日は本来チャンピオンシップ決勝大会の進行を予定をしていましたが、スペシャルゲストのご来場の為急遽予定を変更しとくべつトーナメントを開催したいと思います

彼等はIBSA認定バトラーにして歴代最強と言っても過言ではないほどのバトラーです」

市がそう言う与会場全体に煙幕が広がり視界を奪われる

そして少しして煙幕が晴れ始め徐々に視界が回復し会場全体が見渡せるように戻る

だが、会場の中央に立つ男達を見た弾達光主は驚きを隠せなかった
「なっ!?!」

「うそ、、、どうしてあいつらが、、、?」

「そんな、、、どうして、、、」

「どうして異界王がここに!?!」

第15話 記憶の行方

弾達はいいても立ってもいられず客席から飛び降りステージに立つ男達の前に駆け寄る

「やつぱり、、、異界王！」

「どうしてあんたがここにいるんだ!？」

『異界王』彼は光主達の世界に置いて異界・グラン・ロロを支配し、母なるコア『マザーコア』の力を使いグラン・ロロと地球の融合をなそうとした男

そして弾との死闘の末に敗北し魔力で強化された肉体は力を失い消滅した

そんな彼がこの時代になぜかいるのである

「ふん、お前は馬神弾か」

久しいな、と言ってもお前の中では数ヶ月しか経っていないのだったな」

「お前は死んだはずじゃ!？」

「さて、なぜだと思っている? 激突王」

弾と対峙する異界王の左右に立つ男達が2人の間に割って入る

「激突王馬神弾か」

「馬神弾か、、、こうして対峙するのは初めてかな?」

「パンテーラ、幻惑のレオンもいるのか!？」

パンテーラ、レオン、彼等は異界王の配下にしてパンテーラは作られた機械、レオンは異界王を追って異界を訪れ異界王の野望の実現に尽力した男達である

「どうしてあんた達が、、、」

いや、どうして死んだはずの異界王やパンテーラが!？」

「よかろう、貴様に我らの真実を教えよう」

私達は厳密に言えばお前達の知る私達ではない

グラン・ロロはあらゆる時代、あらゆる場所にゲートが存在していた

このことはお前も知っているだろう

異界を訪れた者の中には未来の姿を聞いた者達もいた

そしてそいつらは未来を変えるために行動し、その結果がこの時代、この時代は貴様達の言う『異界王事件』から時間から見て更に数世紀を経た未来だ

だが、変わってしまった世界にはお前達は俺の前に現れず、また、俺もゲートを開く事が出来なかった

ここはそんな世界の未来、つまりお前達は本来存在し得ないと言うことだ

そして俺はグラン・ロクを通じこの時代にやってきた

だがその時俺に突如大量の記憶が流れ込んできた、そう、お前達との記憶だ」

異界王の説明を呆然と聞く弾だったが、はっと我に帰ると再び身構える

「あんだ達の狙いはなんだ!？」

また世界を壊そうって言うのか!？」

鼻で笑うとレオンは一步前に入る

「さて、貴様が知る必要があるのかな？」

「そんなことはさせない!」

俺が止めてやる!」

ニヤリと怪しく笑む異界王

「ならばこのトーナメントに出場しろ

俺は優勝者とのみバトルをする

戦いたくば、我々の目的を阻止したいのなら勝ち進むがいい、激突

王よ!」

「やってやる!」

そうしてトーナメントに弾達、そして連れられて幸村も出場するこ
ととなるのであった

第16話 合戦の狼煙

各選手のエントリーが済まされ再び天魔市がスクリーンに映し出される

「では早速1回戦組み合わせを発表いたします

コンピュータによる無作為の抽選の為、誰と誰がバトルをするかは直前までわかりません

ので、皆さん、楽しみに待っていて下さいね

では1回戦、第1試合の対戦カードを発表いたします」

そしてスクリーンに出場選手達の顔写真が映し出されるぐるぐると回り始め、やがて勢いよく停止した

そこに映し出されていた2人が対戦相手となる

「1回戦第1試合を飾るのは何処からともなく現れた謎のカードバトル、その実力は未知数の殿方

『激突王』馬神弾さん

対するはこのトーナメントの決勝にて待ち構えるIBSA認定バトルの異界王の配下にして謎の覆面バトルラーなのです

灼熱のパンテラさん

2人はどうやら知り合いのようなのですが、どの様なバトルを広げるのか、期待しているのです」

名前を呼ばれた弾は立ち上がりステージに登る

対しパンテラはスーツ姿で手をポケットに突っ込み睨み合う

「お前とバトルするのも久しぶりだな、よろしく」

「馬神弾、お前とのバトルの記憶は今の俺にはない

だが、なぜかお前とのバトルに胸の鼓動が治らない

これが人間のいう心なのか、そうではないのかはわからない

だが、俺の求めていた最強のカードバトルラーがお前だと言うことは記憶している」

「お前の最後に言った言葉、今でも覚えているよ

『この記憶の中のどのバトルよりもお前とのバトルを俺は忘れない』
記憶にはなくてもお前の心に、魂にちゃんと刻まれているんだ」

弾とパンテラが最後にバトルを行ったのはグラン・ロロにてマザーコアへのエネルギー供給を止める為向かった赤の世界、崩壊したホライゾンラダーの足元であった

ギリギリの読み合いを勝ちその時は弾が勝利を収めたのである

そしてその時に異界王の策によりパンテラはホライゾンラダーの代わりとしてマザーコアに光主のエネルギーを受け、そして解き放ち崩壊をとげたのであった

「だからお前はもうただの機械人形なんかじゃない

俺たちと同じ1人のカードバトラーなんだ」

「そうか、では始めよう激突王！」

「望むところだ、灼熱のパンテラ！」

2人は備え付けのマシーンに乗りカードを4枚勢いよく引き対戦の用意を終えると視線がぶつかる

そして

「ゲートオープン、界放!!」

2人の掛け声とともに光が長方形に伸び白と黒のバトルフィールドが姿を現し、歓声が湧き上がり、第1回戦の幕開けとなるのであった

第17話 再戦

【ターン01】

ここでのパンテラーはスーツを脱ぐ事なくそのままの姿でバトルを行う

「よろしくお願いします」

深々と頭を下げるパンテラーを弾は懐かしそうに見つめた

「生まれ変わってもそのままなんだな、お前は」

「俺は変わらない、心が無いからな」

「じゃあ、始めようか」

スタートステップ！ドローステップ、メインステップ！

ホワイトホール・ドラゴンを召喚

ターンエンド」

『弾』

ホワイトホール・ドラゴン レベル1、1S、BP3000

手4、ラ5、リ0、ト3

【ターン02】

「ふむ、なるほど、スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、メインステップ！

カメレオプス、ムシヤトカゲを召喚

ターンエンドだ」

『弾』

ホワイトホール・ドラゴン レベル1、1S、BP3000

手4、ラ5、リ0、ト3

『パンテラー』

カメレオプス レベル1、1S、BP2000

ムシヤトカゲ レベル1、1、BP3000

手3、ラ5、リ0、ト3

【ターン03】

「メインステップ！

マジック、エクストラドロローを使用

デッキから2枚ドロし3枚目をオープン」

『オープンカード』

征矢龍ビヨウハ

「赤のスピリットの時手札に加える

アタックステップ、ホワイトホール・ドラゴンでアタック！」

「ライフで受ける！」 L5↓4

「ターンエンド」

『弾』

ホワイトホール・ドラゴン レベル1、1S、BP3000疲

手7、ラ5、リ0、ト4

『パンテラ』

カメレオプス レベル1、1S、BP2000

ムシャトカゲ レベル1、1、BP3000

手3、ラ4、リ1、ト3

【ターン04】

「メインステップ、カメレオプスのソウルコアをチェンジしマジック、ソウルドローを使用

きる

更にムシャトカゲをレベル2にアップしバーストをセット

アタックステップ、カメレオプス、ムシャトカゲでアタック！」

「どちらもライフで受ける！」 L5↓3

「ターンエンドだ」

『弾』

ホワイトホール・ドラゴン レベル1、1S、BP3000疲

手7、ラ3、リ2、ト4

『パンテラ』

カメレオプス レベル1、1、BP2000疲

ムシャトカゲ レベル2、2、BP5000疲

手5、ラ4、リ1、ト3S、バ有

【ターン05】

「ドローステップ、っ！」

(よし！)

「メインステップ！」

ライト・ブレイドラ、ロクケラトプスを召喚、更に征矢龍ビョウハを召喚、ホワイトホール・ドラゴンのソウルコアをチェンジし

羽ばたけ、灼熱の翼、吼えろ！龍皇ジークフリードを召喚！

不足コストはライト・ブレイドラから確保

龍皇ジークフリードはソウルコアが置かれている時、最高レベルになる

アタックスステップ、ロクケラトプス、ホワイトホール・ドラゴンでアタック！」

「ライフで受ける！」L4↓2

「ライフ減少によりバースト発動！」

マジック、絶甲氷盾

ライフを1つ回復し、フラッシュ効果、アタックスステップを終了させる」L2↓3

「ターンエンド」

『弾』

ホワイトホール・ドラゴン レベル1、1、BP3000疲

ロクケラトプス レベル1、1、BP3000疲

征矢龍ビョウハ レベル1、1、BP4000

龍皇ジークフリード レベル3、1S、BP10000

手4、ラ3、リ0、ト4

『パンテラ』

カメレオプス レベル1、1、BP2000疲

ムシャトカゲ レベル1、1、BP3000疲

手5、ラ3、リ0、ト7S

【ターン06】

「ジークフリードか、厄介なスピリットだな

メインステップバーストをセットし、マジック、ソウルシユートを
使用

ソウルコアの力によりジークフリードとホワイトホール・ドラゴンのコアをリザーブに置く」

「っ！」

ジークフリード、ホワイトホール・ドラゴン！」

「まだ終わりではない！」

ゴラドンを召喚し、そして!!

炎の赤き龍！

アルティメットジークフリードを召喚！

不足コストはゴラドンとムシャトカゲより確保

アタックステップ、アルティメットジークフリードでアタック！

アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガーカード』

鉄壁ウォール

「ヒットだ！」

相手のスピリットは必ずブロックしなくてはならない」

「くっ、、すまない、ビヨウハでブロック」

「この時、ジークフリードの効果が発動！」

相手のライフを1つリザーブに置く」

「なに!?!」 L3↓2

「さあ、消えろ！」

「まだだ！」

フラッシュタイミング、マジック、ヴィクトリーファイアを使用！

BP3000以下のスピリット、すなわちカメレオプスを破壊する

！」

「カメレオプスが破壊されたか

だが、ビヨウハは貫った！」

ジークフリードに踏み潰されビヨウハは破壊された

「ふむ、ターンエンドだ」

『弾』

ロケケラトプス レベル1、1、BP3000疲

手3、ラ2、リ0、ト7

『パンテラー』

アルティメット・ジークフリード レベル3、1、BP1000

0 疲

手2、ラ3、リ1、ト8S

【ターン07】

「よし、メインステップ！」

ライト・ブレイドラを召喚

そしてマジック、ビッグバンエナジーを使用！

このターンの間、系統【星竜】を持つスピリットの召喚コストを自分のライフと同じにする

これにより！

雷よ、天を裂け！雷皇龍ジークヴルムをノーコストで召喚！

更に、雷皇龍ジークヴルムを転召させ、紅蓮の星より龍を呼ぶ

超神星龍ジークヴルム・ノヴァ、レベル3をノーコストで召喚！

ジークヴルム・ノヴァの召喚時効果、ジークヴルムからの転召によりライフが5まで回復する」L2↓5

「アタックステップ！」

超神星龍ジークヴルム・ノヴァ、行け!!」

「おお、これがお前の炎か！」

ならば我がライフで受ける!!」L3↓1

「だが、ライフ減少によりバースト発動！

マジック、絶甲氷盾!!」

「なに!?!」

「ボイドよりライフにコアを置く」L1↓2

「だが、ジークフリードを破壊しなくてはフラッシュ効果は打てないだろう」

「わかっている

フラッシュ効果は使用しない」

「俺にはまだ、回復状態のスピリットが2体いる

行け、ライト・ブレイドラ！」

「ライフで受ける」L2↓1

「止めだ！ロクケラトプスでアタック！」

「フラッシュタイミング、マジック、炎刃ストライク！」

BP3000以下のスピリット2体を破壊する

消えろ、ロクケラトプス、ライト・ブレイドラー！」

炎に卷かれロクケラトプスとライト・ブレイドラが破壊される

「ぐう、、ターンエンド」

(今の俺に手札はないの、、)

でもそれはパンテラーも同じだ

残りは1枚、このターンは凌ぎきれぬ

そうなればノヴァでもう1度だ)

『弾』

超神星龍ジークヴルム・ノヴァ レベル3、5S、BP1500

0

手0、ラ5、リ2、ト2

『パンテラー』

アルティメット・ジークフリード レベル3、1、BP1000

0 疲

手1、ラ1、リ0、ト12S

【ターン08】

「お前の必勝コンボは止めた

ならば、俺のキースピリットでお前のスピリットを焼き尽くすまで

だ！

メインステップ！

全てを焼き尽くす炎の剣聖！

十剣聖スターブレード・ドラゴンをレベル3で召喚！」

「まだあんなスピリットが残っていたのか!?!」

「アタックステップ、十剣聖スターブレード・ドラゴンでアタック！

アタック時効果、相手の最もBPの高いスピリット、即ちジークヴ

ルム・ノヴァを破壊する！」

「そんな!?!」

スターブレード・ドラゴンがノヴァを切り裂き破壊する

「さあ、このアタックはどう受ける！」

「ライフしかないんだよ!!」 L5↓4

「ターンエンド」

お前には手札も、場のスピリットも無い

お前の負けだ」

『弾』

手0、ラ4、リ8、ト2

『パンテラ』

アルティメット・ジークフリード レベル3、1、BP1000

0

十剣聖スターブレード・ドラゴン レベル3、5、BP1500

0 疲

手1、ラ1、リ0、ト8

【ターン09】

「絶対絶命、、、か、、、」

「ん？」

弾は瞳を閉じ大きく深呼吸しデツキに手を乗せる

「俺は何度も絶対絶命に陥った

でもその度スピリット達が俺に力をくれた

だから俺は諦めない!

ライフが0になるその時まで力の限り戦い抜くんだ!

ドロロー、、、ステツプ!!」

勢いよくカードをドロローした弾は恐る恐る目を開き確認する

その瞬間を会場全体が固唾を飲んで見守る中、弾はドロローを見て頬

を緩めた

「俺はまだ倒れちゃいない!

これがデツキの答えだ!

メインステツプ!!

雷よ、天裂き乱世を切り開け!

戦国ジークヴルムを召喚!!」

「新たなジークヴルム!？」

「こんなスピリットを残していたのか、」

「だが、たった1体のスピリットでは我がジークフリードを破れてもライフまでは届くまい」

「まだだ!」

「戦国ジークヴルムの召喚時効果、デッキの上より6枚をオープン!」

『オープンカード』

ニーベルングリング

ホワイトホール・ドラゴン

アルティメット・ジークヴルム・ノヴァ

ビッグバンエナジー

戦国超龍 磁威駆武流無・乃刃

「その中の系統【星竜】【武竜】を持つコスト8のスピリットを1枚コストを支払わずに召喚でき、残ったカードはデッキの下に置ける!!

これにより!

「古き龍の血よ!新たな龍の命となれ!戦国超龍 磁威駆武流無・乃刃をノーコストで召喚!!」

「召喚時の効果、ジークヴルムのコアをトラッシュに置くことでライフが5まで回復する」L4↓5

「新たなノヴァを召喚したか

だがプレイングミスだな

「ジークヴルムを残していれば2体のアタックで俺のライフを削れたものを!」

「いいや、これで十分だ!」

アタックステップ!

戦国超龍 磁威駆武流無・乃刃でアタック!!

「磁威駆武流無・乃刃のアタック時効果、合計BP10000まで相手のスピリット、アルティメットを破壊できる!!」

「BP10000のアルティメット・ジークフリードを指定!」

「なんだと!？」

「そして磁威駆武流無・乃刃はダブルシンボル、ライフを2つ破壊出来る!!」

「ふん、いいバトルだった」

思った通りお前は最強のカードバトラーだったな

ライフで受ける!!」 L1↓0

第18話 続く激闘

「勝者、激突王、弾！」

激突王の名にふさわしい熱いバトルだったぞ！」

MC小太郎のコールと同時に会場が沸き立つ

弾はパンテラに近づき手を差し出す

「ありがとうございます、いいバトルでした」

「それは、、、？」

「覚えてないのか、最高のバトルが出来た時はこう言うんだ」

「最高のバトル、、、か、、、」

そうだな、お前とのバトルは心地いい

俺に足りない心を満たす様に体が高ぶる」

「カードバトラーならみんな感じるよ、お前は心が無いって言うけどそんな事ないって俺は思う

だってお前は自分で考えて、騙し合いをして全力で戦っている

それって心が無いと出来ないんじゃないかな？

心が無いなら嘘を吐いたりしない、そう思うな」

「そうか、、、」

弾、勝て

閣下がお前を待っている」

パンテラはそう言いながら弾の手を握った

そして2戦目の抽選が始まる

再び天魔市がスクリーンに映し出され、その両サイドに弾、パンテラを除くすべての参加者達の顔写真が順番に回転する

「それでは、第2回戦の組み合わせ発表なのです

第2回戦の組み合わせはこの2人なのです」

そうして回転は停止した

「まずは華麗な紫の花

こちらも初出場の女の子、『ヴィオレまる』ちゃん

対するは武蔵が誇る緑のS級バトラー

戦国チャンピオンシップでも期待が高まるこの方、『宝緑院兼続』

さて、2人はどんなバトルを披露してくれるのかドキドキです」
名前を呼ばれまるは席を立つ

「まる、頑張れよー！」

バトルを終えて席に戻る弾に声をかけられたまるは前髪を弄りながら通り過ぎる

「当たり前、ってか、あんたとバトルするまで負ける気、ないから
勿論、あんたにもね」

弾はまるの後ろ姿を眺めながら手を挙げる

「待つてるからな！」

一方、兼続は組の仲間たちに見送られながらステージへと向かう
「兼続さん、勝ってくださいー！」

それを兼続は背中に描かれた『愛』の文字を指差すだけで無言のままステージへと足を進めるのであった

「あんた、たしか剣ちゃんに負けてた」

「あの時確かいたな」

こちらの手の内を知っているからと言って油断すれば痛い目を見るぞ！

来い！緑風神！」

兼続の掛け声と共に緑の専用機、緑風神が姿を現した

それに対しまるは取り付けてあるバトルマシーンに何処か不思議
そうな表情のまま乗り込み、2機がゆっくりと浮上する

そして2人がバトルの用意を終え、合言葉を叫ぶ

「ゲートオープン、界放!!」

光が長方形に広がり、バトルフィールドの出現と同時に2回戦が始まるのであった

第19話 ソウルバーストVSアルティメット

【ターン01】

「いっくよ！」

スタートステップ！ドローステップ、メインステップ！

冥闘士バラムを召喚！

ターンエンド」

『まゐ』

冥闘士バラム レベル1、1S、BP2000

手4、ラ5、リ0、ト3

【ターン02】

「いくぞ！」

スタートステップ！コアステップ、ドローステップ！メインステップ！

異牙忍ラツパンサーを召喚！

アタックステップ、ラツパンサーでアタック！

バトル時効果でボイドから1個このスピリットにコアを追加しレベル2にアップ！

更にラツパンサーはソウルコアがリザーブにある間、BPプラス4000され合計BP7000！」

「ライフで受けるー」L5↓4

「ターンエンド」

『まゐ』

冥闘士バラム レベル1、1S、BP2000

手4、ラ4、リ1、ト3

『兼続』

異牙忍ラツパンサー レベル2、2、BP7000疲

手4、ラ5、リ1S、ト3

【ターン03】

「ふーん、ここのバトルはこの程度の衝撃なんだ

弾が物足りなさそうにしてた理由、分かるかも

メインステップでデモ・ボーンをレベル2で召喚
更にマジック、トータンタンツを使用

手札の魔界七将アスモディオスを破棄する事でラツパンサーから
2個リザーブに置く

「ばいばい、ラツパンサー」

「なに!？」

B P 上昇により破壊は無いと読んでいた兼続は驚きを隠せなかつ
た

「バーストをセットしてアタックステップ！

冥闘士バラムで攻撃！」

兼続は手札に視線を落とす

そこには既にキースピリット、烈風忍者キリカゲの姿があった

だが手を伸ばすこと躊躇う

(今ならソウル神速を使ってキリカゲを召喚出来る

だが、またあのトータンタンツを使われればキリカゲのコアを維持
できない

ならば!)

「ライフで受ける!」 L5↓4

「へえ、ライフで受けるんだ

キリカゲを召喚しなくてよかったの?」

「貴様には関係の無いことだ」

「そっか、ならターンエンド」

『まゐ』

冥闘士バラム レベル1、1 S、BP2000 疲

デモ・ボーン レベル2、2、BP2000

手2、ラ4、リ0、ト3、バ有

『兼続』

手4、ラ4、リ4 S、ト3

【ターン04】

「ラツパンサーを破壊した程度でいい気になるな!

メインステップ、再びラツパンサーをレベル2で召喚

続けてバーストをセット

アタックステップ、ラツパンサーでアタック！

バトル時効果によりコアを1つ追加！」

「ライフで受けるー」L4↓3

「どうした!?!」

「この程度か!?!」

「うっさい!」

ライフ減少によりバースト発動！

マジック、妖華吸血爪！

効果で2枚ドロー！」

「ターンエンドだ」

『まる』

冥闘士バラム レベル1、1S、BP2000疲

デモ・ボーン レベル2、2、BP2000

手4、ラ3、リ1、ト3

『兼続』

異牙忍ラツパンサー レベル2、3、BP7000疲

手3、ラ4、リ3S、ト3、バ有

【ターン05】

「この時代男達はどうしてこううるさいかな？」

ほんとやになっちゃう

メインステップ、まずはツチグデーモン召喚

更に！

打ち破れ、紫の闇！

アルティメット・ベルゼビートをレベル3で召喚！

不足コストはデモボーンより確保」

「来るか!?!」

「ターンエンド」

「なに!?!」

『まる』

冥闘士バラム レベル1、1S、BP2000

ツチグデーモン レベル1、1、BP2000

アルティメット・ベルゼビート レベル3、1、BP13000

手3、ラ3、リ0、ト5

『兼続』

異牙忍ラツパンサー レベル2、3、BP7000疲

手3、ラ4、リ3S、ト3、バ有

【ターン06】

「キーカードを召喚したにも関わらず何もしない、臆したか？」

「あなたのターンよ

はやくして」

「貴様！

後悔しても知らんぞ！

メインステップ、ラツパンサーをレベル1にダウン

そして！

吹けよ緑の疾風！

緑影の起導者アオギリを召喚！

召喚コストにソウルコアを使っている為、ソウルバースト発動！

双身転化！

バースト効果によりアルティメット・ベルゼビートを疲労！

更に起導での発動により大地の忍 ダイビート、烈風忍者キリカゲ

をノーコストで召喚！

更にコストを支払ってフラッシュ効果！

バラムとツチグデーモンを疲労させる

更にアオギリの効果で1枚ドローする

アタックステップ！

キリカゲでアタック！

「ライフで受ける！」 L3↓2

「アオギリ、続け！」

「あんたもほんつとに学習しないよね

フラッシュタイミング、マジック、トータンタンツ！」

「なんだと!?!」

「手札の魔界七将デスペラードを破棄してダイビート、ラッパンサーのコアをリザーブに置く」

「不足コストはツチグデーモンより確保する」

紫の霧に包まれダイビートとラッパンサーは力を吸い取られ消滅した

「ダイビート、ラッパンサー!!」

「そのアタック、ライフで受ける!」 L2↓1

「ターン、、、エンド、、、」

(だが、俺にはまだウインドウォールがある、、、)

次のターンは凌ぎきれる!)

『まる』

冥闘士バラム レベル1、1S、BP2000疲

アルティメット・ベルゼビート レベル3、1、BP13000

疲

手3、ラ1、リ1、ト7

『兼続』

烈風忍者キリカゲ レベル1、1、BP6000疲

緑影の起導者アオギリ レベル1、1、BP5000疲

手2、ラ4、リ2、ト6S

【ターン07】

「凌げるって思ってる?」

「なら残念、わたしの勝ちよ」

「メインステップ!」

「打ち破れ、紫の闇、パート2!」

「魔界七将ベルゼビートを召喚!」

「召喚時効果もあるけど今回は使わない」

「なぜだ!?!」

「だって可哀想だもん」

「アタックステップ、アルティメット・ベルゼビートで攻撃!」

「アルティメットトリガー、ロックオン!」

『トリガーカード』

手裏剣大地

「ヒット！」

これによりトラッシュの紫のスピリットをコストを支払わずに召喚出来る

魔界七将アスモディオスをレベル2でノーコスト召喚！

転召の効果で魔界七将ベルゼビートのコアをボイドに置く！

召喚時効果発揮！

相手のスピリット上から2個ずつリザーブに置ける

ばいばい、キリカゲ、アオギリ！」

「ぐう、、だが俺にはまだ手札がある！」

「じゃ、それも捨てちゃって

アスモディオスはベルゼビートからの転召により相手の手札を4枚まで破棄出来る！」

「そんな馬鹿な!？」

『破棄カード』

ウインドウォール

テツポウナナフシ

「これがアルティメット・ベルゼビートのメインのアタック！」

「ライフで、、受ける、、」 L4↓3

「続けて冥闘士バラムで攻撃！」

「ライフだ！」 L3↓2

「アスモディオスでとどめっ！」

「ライフだああああ!!」 L2↓0

第20話 烈火出陣

「勝者、ヴィオレまる！」

華麗なコアシユートとトラツシユからの蘇生を駆使してS級バトルの宝緑院兼続を破った！

さて、白熱してきたところで第3回戦の組み合わせ発表だ！」

MC小太郎のコールと共に先ほどと同じく天魔市がスクリーンに映し出される

「次の対戦カードはこちらなのです」

そしてルーレットの様に顔写真が回り出し少して停止する

「次の対戦カードはこの武蔵の誇る赤属性の使い手にしてソウルバーストを使うこの方、『烈火幸村』」

対するは青のデッキ破壊を駆使して戦うこの方、『硯秀人』

大会優勝候補である烈火幸村とどの様なバトルを繰り広げるか、楽しみなのです」

名を呼ばれ硯は親指の爪を噛みながら立ち上がる

その横に座っていた弾はガッツポーズで硯にエールを送る

「硯、まゐりに続いて勝てよ！」

お前との再戦も楽しみにしてるんだからな！」

「うん、大丈夫」

僕も君には借りがあるしね」

硯はそう言い残しステージへと向かっていく

対して幸村は大きく息を吸い込む

（硯秀人か

昨日対戦した時は過去のデッキしか使わなかったから一体どんなバトルをするんだ、…

でも、俺は勝つ！どんな手で来ようと俺は俺のバトルを貫くまでだ！）

顔を伏せ胸に溜め込んだ息をゆっくりと吐き出しながらデッキを取り出す

その姿を横で見ていた環奈は幸村の服の裾を引っ張る

「落ち着いて行くでござる」

お主は必ず勝利出来る

それはずつと幸村と一緒に戦ってきた拙者が保証するでござる」
環奈のその声に幸村はそつと振り返り彼女の肩に手を置く

「環へえ、」

ああ！

心配するな、勝つのは俺たちだ！

弾との約束もある

負けるわけにはいかないよな！」

そう言い残し幸村もステージへと向かって足を進めた

「頑張るでござるー！」

歓声が高鳴る中、幸村と硯が同時にステージへと向かう

「ここぞ登場！」

現在開催中の戦国チャンピオンシップ、決勝トーナメントに勝ち残り優勝候補としても名高いかの熱き男、烈火幸村の登場だ！

対するは本大会に突如現れた彼ら同様初参加の男、硯秀人！

どちらが勝つのか、また、硯はどんなバトルを繰り広げるのか期待しよう！」

2人は定位置に立つと視線が交錯する

「硯秀人！」

お前には悪いが俺は勝たせてもらう！」

「へえ、君も暑っ苦しいね、」

でも、そう言うの、嫌いじゃないし

ま、勝つのは僕だけどね」

「そうはさせない！」

来い！轟天龍！」

幸村の掛け声と共に轟天龍が現れる

そして2人対戦の用意を済ませにらみ合い、そして

「ゲートオープン、解放!!」

合言葉と共にバトルが始まるのであった

第21話 ソードブレイヴ対決

硯は手袋をはめ幸村を見つめる

(彼は赤の使い手、)

弾君とのいい練習相手になるかもね、)

【ターン01】

「先攻は俺から行かせてもらおう！」

スタートステップ、ドローステップ、メインステップ！

マジック、一発必中ドローを使用！

デッキから5枚をオープン」

『オープンカード』

イクサトカゲ

陀武竜ドロ

儼武竜ヒョウジンドラゴン

龍魂乱舞

ジンライドドラゴン

「来い、ジンライドドラゴン！」

バーストをセットしターンエンド」

『幸村』

手4、ラ5、リ2S、ト2、バ有

【ターン02】

「スタートステップ！コアステップ、そつと、ドローステップ」

硯はカードを擦らないように両端を挟むように持ちながら真上に引き上げるようにドロウする

「そしてメインステップ、ネクサス、No. 34 ラージアイランドを配置

ターンエンド」

『幸村』

手4、ラ5、リ2S、ト2、バ有

『硯』

ラージアイランド レベル1、0

手4、ラ5、リ1S、ト4

【ターン03】

「俺のターン、メインステップ！」

ドラマル、ジンライドラゴンを連続召喚

アタックステップ、ドラマル、ジンライドラゴンで連続アタック！」

「どちらもライフで受ける！」 L5↓3

「ターンエンド」

『幸村』

ドラマル レベル1、1、BP1000

ジンライドラゴン レベル1、1S、BP3000

手3、ラ5、リ1、ト2、バ有

『硯』

ラージアイランド レベル1、0

手4、ラ3、リ3S、ト4

【ターン04】

「メインステップ、白空童子をレベル2、赤剣明王をレベル1で召喚

ターンエンド」

『幸村』

ドラマル レベル1、1、BP1000疲

ジンライドラゴン レベル1、1S、BP3000疲

手3、ラ5、リ1、ト2、バ有

『硯』

白空童子 レベル2、3、BP6000

赤剣明王 レベル1、1S、BP4000

ラージアイランド レベル1、0

手4、ラ3、リ0、ト4

【ターン05】

「俺のターン、メインステップでジンライドラゴンのソウルコアを
チェンジしまジック、ソウルドローを使用

デッキから3枚をドローする

アタックステップ！

ジンライドラゴンでアタック！

アタック時効果でBPプラス3000！

合計BP6000！」

「ライフで受けるー」L3↓2

「ターンエンド」

『幸村』

ドラマル レベル1、1、BP1000

ジンライドラゴン レベル1、1S、BP3000疲

手6、ラ5、リ1、ト2、バ有

『硯』

白空童子 レベル2、3、BP6000

赤剣明王 レベル1、1S、BP4000

ラージアイランド レベル1、0

手4、ラ2、リ1、ト4

【ターン06】

「メインステップ、マジック、マントラドローを使用

3枚ドロし、カード名に『明王』『童子』とあるスピリットにソウルコアが置かれているため破棄する枚数は1枚となる」

『破棄』

戦国大帝 荒駆参陀亜

「更に！

現世にその身を現せ蒼き魔導石の巨人！

アルティメット・オリハルコン・ゴレムをレベル4で召喚！

不足コストは白空童子より確保、白空童子は破壊される」

「アルティメットだって!?!」

予期せぬアルティメットの登場に幸村は動揺を隠せない

「アタックステップ、アルティメット・オリハルコン・ゴレムでアタック！

同時に【粉碎】の効果によりデッキから4枚を破棄する」

【破棄】

龍魂乱舞

ドラマル

龍魂乱舞

炎龍刀オニマル・真打

「くっ!!」

「更に、アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガーカード』

ジンライドドラゴン

「ヒット！」

「これによりデッキから6枚を破棄する！」

「何!？」

『破棄』

武将転生

双翼乱舞

イクサトカゲ

ジンライドドラゴン

剣武竜ムラマサ・ドラゴン

戦国龍皇バーニング・ソウルドラゴン

「バーニング、、、ソウルドラゴンが、、、」

「そしてここからがメインのアタック！」

「ライフで受ける！」L5↓4

「君のキースピリットはもう破棄した

僕の勝ちが決まりだね」

「まだだ！」

ライフ減少によりバースト発動！

バースト効果によりドラマルにBPプラス10000！

更に召喚！炎龍刀オニマル！」

「くっ、、、ターンエンドだよ」

『幸村』

ドラマル レベル1、1、BP1000

ジンライドドラゴン レベル1、1S、BP3000 疲

炎龍刀オニマル レベル1、1、BP3000

手6、ラ4、リ1、ト2、

『硯』

アルティメット・オリハルコン・ゴレム レベル4、3、BP2
0000

赤剣明王 レベル1、1S、BP4000

ラージアイランド レベル1、0

手4、ラ2、リ1、ト6

【ターン07】

「俺のターン、行くぜ！」

燃え上がれ、猛き龍よ！熱きその魂で天を切り裂く炎となれ！召喚、剣豪龍サムライドラゴン・天！

オニマルを天とブレイヴ！

そして召喚！戦国龍ソウルドラゴン！

不足コストはドラマルとジンライドラゴンより確保

召喚時効果発揮！

BP2000以下のアルティメットを全て破壊する

消えろ！アルティメット・オリハルコン・ゴレム！」

「なに!?!」

「アタックステップ、サムライドラゴン・天、【無限刃】！」

赤剣明王を指定アタック！」

「く、、、でもフラッシュタイミングでマジック、キングスコマンドを召喚

このターンの間、コスト4以上のスピリットはアタック出来ない」

天はオニマルを振りかぶり赤剣明王を切り裂くが突然現れた衝撃波に吹き飛ばされる

「くそ、ターンエンドだ」

『幸村』

剣豪龍サムライドラゴン・天＋炎龍刀オニマル レベル1、1S、

BP10000

戦国龍ソウルドラゴン レベル1、1、BP7000

手5、ラ4、リ0、ト6

『硯』

ラージアイランド レベル1、0

手3、ラ2、リ2S、ト8

【ターン08】

「メインステップ、緑鳥童子をレベル2で召喚

ターンエンド」

『幸村』

剣豪龍サムライドラゴン・天＋炎龍刀オニマル レベル1、1S、

BP10000

戦国龍ソウルドラゴン レベル1、1、BP7000

手5、ラ4、リ0、ト6

『硯』

緑鳥童子 レベル2、3S、BP2000

ラージアイランド レベル1、0

手3、ラ2、リ8、ト0

【ターン09】

「メインステップ、ソウルドラゴンと天をそれぞれレベル3、2にアツ
プしバーストをセット！」

更にオニマルをソウルドラゴンにブレイヴ！

アタックステップ、天で【無限刃】！

緑鳥童子を指定アタック！」

「やはりそうきたね、でもフラッシュタイミング、マジック、キングス
コマンドを使用！」

天が緑鳥童子を切り裂くのだが、緑鳥童子が破壊されると同時に足元
が海に飲まれそこから巨人が姿を現した

「緑鳥童子の破壊時効果、手札の明王とあるスピリットを召喚出来る
そしてソウルコアの力で軽減シンボルは全て満たされた物として
扱う

よって出でよ、破壊の巨人！

覇界明王ニルヴァーナをレベル3で召喚！」

「くっ！」

ターンエンドだ」

『幸村』

劍豪龍サムライドラゴン・天 レベル2、3S、BP7000
戦国龍ソウルドラゴン+炎龍刀オニマル レベル3、4、BP1
8000

手5、ラ4、リ2、ト0

『硯』

覇界明王ニルヴァーナ レベル3、4S、BP13000
ラージアイランド レベル1、0
手1、ラ2、リ4、ト3

【ターン10】

「このターンで決めるよ！」

メインステップ、

その雄々しき姿に世界が跪く！

アルティメット・アレクサンダーを召喚！

更に、蒼き世界の破壊の剣！

蒼海の大剣メイルシュトロムを召喚、ニルヴァーナとブレイヴ！

そしてアタックステップ、ブレイヴスピリットでアタック！

覇界明王の効果により戦国龍ソウルドラゴンを破壊！」

「なに!？」

ソウルドラゴン!!」

ニルヴァーナがメイルシュトロムを振りかぶりソウルドラゴンを
一刀両断する

「まだ終わりじゃないよ、その破壊したスピリットのコスト分相手の
デッキから1枚破棄出来る

ソウルドラゴンとオニマルの合計コストは13、更に1強化付いて
14枚数破棄するよ！」

『破棄』

絶甲氷盾

セングクグレンドラゴン

ソウルドロー

サムライドラゴン

センゴクグレンドラゴン

イクサトカゲ

一発必中ドロ―

絶甲氷盾

陀武竜ドロ―

双翼乱舞

儼武竜ヒヨウジンドラゴン

陀武竜ドロ―

イクサトカゲ

陀武竜ドロ―

「俺のデツキが、、、」

「まだ行くよ、合体時効果により【強襲】

ネクサスを疲労させ回復する！

そして君のデツキは残り2枚

終わりだね」

「まだだ！

『相手による自分のスピリット破壊』によりバースト発動！

マジック、武将転生!!

トラッシュのソウルドラゴンを再召喚！

更にフラッシュ効果！

ソウルドラゴンにBPプラス5000!!

そしてソウルドラゴンでブロック！」

「でもBPは同じ18000、相打ちだよ」

「まだだ！

更にマジック、武将転生!!」

「マジックの重ね掛け!?!」

「不足コストは天より確保

すまない天、、、

更にソウルドラゴンにBPプラス5000、合計BP23000だ

!!」

炎と共に再び現れたソウルドラゴンが渾身の一闪を放ちニルヴァーナを切り裂き破壊した

「くっ、っ、ターンエンドだ」

『幸村』

炎龍刀オニマル レベル1、1、BP3000

戦国龍ソウルドラゴン レベル3、4、BP13000

手4、ラ4、リ0、ト4S

『硯』

蒼海の大剣メイシルシュトロム レベル1、1S、BP5000

アルティメット・アレクサンダー レベル3、1、BP1100

0

ラージアイランド レベル1、0

手0、ラ2、リ2、ト6

【ターン1】

「このターンで決めてやる！」

メインステップ、オニマルを再びソウルドラゴンとブレイヴ！

そしてレベル4にパワーアップ！

アタックステップ、ソウルドラゴンでブレイヴアタック!!

アタック時効果、【連刃】発揮！

2体と同時バトルだ!!」

ソウルドラゴンはオニマルを振りかぶりメイシルシュトロム、アレクサンダーと同時に切り裂いた

「更にアタック時効果によりライフを1つリザーブに！」

「くっ、っ、」

でもソウルドラゴンが削れるのはスピリットを破壊した時のみ

僕のライフはまだ残っているよ

次のターンで君は負ける！」L2↓1

「いや、お前に次のターンはない！」

炎龍刀オニマルの合体時効果！

トラッシュのソウルコアをソウルドラゴンに戻すことでソウルドラゴンが回復する！」

「なんだって!？」

「もう1度ソウルドラゴンでアタック!

うおお!燃えろ、俺の魂!燃えろ、ソウルドラゴン!!」

「そんな馬鹿なああああ!!」 L1↓0

第22話 再開、再戦

そして4戦目の組み合わせが発表された
クラツキー対剣蔵

彼らはグラン・ロロチャンピオンシップで1度対戦しており、クラツキーにとつては雪辱戦となるのである

【ターン01】

「やはりクラツキーさんも出ていたんですね」

「まあね、こんな楽しそうなイベントならなおのことね

さあ、始めようか！」

「僕のターンからですね

スタートステップ、ドローステップ、メインステップ！

翠鳳弓ニックスボウを召喚！

ターンエンドです」

『剣蔵』

翠鳳弓ニックスボウ レベル1、1S、BP2000

手4、ラ5、リ1、ト2

【ターン02】

「僕のターンだ

スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、メインステップ！

天使スピエルをレベル2で召喚！

更にネクサス、No.38ラブプリンセスを配置

バーストをセットしターンエンドだ

頼んだよスピエル」

『剣蔵』

翠鳳弓ニックスボウ レベル1、1S、BP2000

手4、ラ5、リ1、ト2

『クラツキー』

天使スピエル レベル2、2S、BP2000

No.38ラブプリンセス レベル1、0

手2、ラ5、リ0、ト3、バ有

【ターン03】

「行きます、メインステップ！

忠臣ラテルを召喚！

ニックスボウをブレイヴ！

更にバーストをセット！

アタックステップ、ブレイヴスピリットでアタック！

ニックスボウの合体時効果によりスピエルを疲労！

更にラテルの効果で1個コアを追加！

更にラテルにソウルコアが置かれている間、系統『剣獣』を持つス

ピリット、アルティメットにBPプラス4000！」

「ライフで受ける！

『ライフ減少』によりバースト発動！

ラテルをBPマイナス10000、0になった為破壊する！」L5

↓4

「ラテル！」

「そして召喚！

優しい天使の微笑み、戦国姫御琴！」

「やりますね、でも、『相手による自分のスピリット破壊』によりバースト発動！

相手のスピリット2体を疲労させ召喚！アルティメット・ウシワカ
！！

「やるねえ」

「ターンエンドです！」

『剣蔵』

翠鳳弓ニックスボウ レベル1、1S、BP2000

アルティメット・ウシワカ レベル3、1、BP9000

手3、ラ5、リ1、ト3

『クラツキー』

天使スピエル レベル2、2S、BP2000疲

戦国姫御琴 レベル1、1、BP5000疲

No. 38ラブプリンセス レベル1、0
手2、ラ4、リ0、ト3

【ターン04】

「メインステップ！」

行くよ、破壊を司る剣士！

剣聖姫ツルをレベル2で召喚！

召喚時効果によりデッキから5枚をオープン！」

『オープンカード』

戦国姫由月

舞華ドロロー

魂円舞

舞華ドロロー

剣聖姫ツル

「その中のバースト効果を持つカード全てを手札に加える

由月、魂円舞を手札に加え、残ったカードは破棄する

そしてスピエルのソウルコアをツルに移動しレベル3にアップ！

更にバーストをセット！

アタックステップ、剣聖姫ツルでアタック！

アタック時効果【起導】によりソウルバースト発動！！

魂円舞のソウルバースト効果によりアルティメット・ウシワカのブ

ロックを封じる

更にフラッシュ効果によりニックスボウをBPマイナス6000、

0になった為破壊する！

不足コストはツルとスピエルから確保、スピエルは破壊される」

「ライフで受けます!!」 L5↓4

「続けて御琴もアタックだ！」

「そっちもライフで受けます！」 L4↓3

「エンドステップ時、ソウルコアがトラッシュにある為舞華ドロローを

1枚回収

ターンエンド」

『剣蔵』

アルティメット・ウシワカ レベル3、1、BP9000
手3、ラ3、リ4、ト3

『クラツキー』

剣聖姫ツル レベル1、1、BP4000 疲
戦国姫御琴 レベル1、1、BP5000 疲
No. 38ラブプリンセス レベル1、0
手4、ラ4、リ0、ト5S

【ターン05】

「メインステップ、忠臣エゾウルフを召喚、アルティメット・ウシワカをレベル5にアップ

アタックステップ、エゾウルフでアタック！

系統『剣獣』のアタックによりエゾウルフの効果でボイドから1個コアをリザーブに置く」

「ライフで受けるー！」L4↓3

「ターンエンドですー！」

『剣蔵』

アルティメット・ウシワカ レベル3、1、BP9000
忠臣エゾウルフ レベル1、1S、BP3000 疲
手3、ラ3、リ1、ト4

『クラツキー』

剣聖姫ツル レベル1、1、BP4000 疲
戦国姫御琴 レベル1、1、BP5000 疲
No. 38ラブプリンセス レベル1、0
手4、ラ3、リ3、ト5S

【ターン06】

「メインステップ、ツルをレベル3、御琴をレベル2にアップ

更にバーストをセット！

アタックステップ、ツルでアタック！

アタック時効果によりソウルバースト発動！！

ソウルバーストの効果によりトラツシユの魂円舞を回収！

そして召喚！

鶴一文字、ツルにダイレクトでブレイヴ！」

「そうはさせません！」

相手がソウルコアをトラッシュに置いた時、このスピリットはコストを支払わずに召喚出来ます！

緑の疾風怒濤！

異牙忍頭首トウドウをレベル3で召喚！

不足コストはウシワカをレベル3にダウン！」

「ならばフラッシュユタイミング、マジック、舞華ドローを使用！

エゾウルフをBPマイナス3000し0になった為破壊！

更に1枚ドロー！

更にラブプリンセスの効果で1枚ドロー」

「ライフで受けます！」 L3↓1

「ターンエンドだ」

『剣蔵』

アルティメット・ウシワカ レベル3、1、BP9000

異牙忍頭首トウドウ レベル3、4、BP12000

手2、ラ1、リ3、ト4

『クラッキー』

剣聖姫御琴 レベル2、3、BP7000

戦国姫ツル+鶴一文字 レベル3、3、BP11000疲

No.38ラブプリンセス レベル1、0

手4、ラ3、リ3、ト5S

【ターン07】

「メインステップ、トウドウをレベル2にダウン

そして、剣舞え、白い牙を剥け！

緑の戦士の力をここに！

アルティメット・ビヤクガロウをレベル4で召喚！

アタックステップ、アルティメット・ビヤクガロウでアタック！

アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガーカード』

シンフォニックバースト

「クリティカルヒット！」

御琴を疲労させる！」

「くっ、っ、ライフで受ける！」 L3↓2

「更に、ビャクガロウのクリティカルヒット時効果、疲労状態の相手のスピリット全てを山札の下に！」

「何んだって!?!」

「止めですね！」

トウドウ、ウシワカでアタック！」

「NOooooooooo!!」 L2↓0

第23話 白き騎士、緑の暴風

続き5戦目、組み合わせはレオンVS勇貴

2人も以前グラン・ロロにて対戦を行い、そして勇貴が勝利したのである

「貴公とのバトルも久々よのう」

「そうなるな」

以前のような無様なバトルは願い下げだけどね」

先攻はレオンでバトルがスタートする

【ターン01】

「言ってくれる、」

メインステップでさまよう甲冑を召喚

召喚時効果で1枚ドロートターンエンド」

『レオン』

さまよう甲冑 レベル1、1S、BP2000

手5、ラ5、リ0、ト3

【ターン02】

「メインステップ、俺は電人トレインを召喚

召喚時効果によりデッキの上から4枚をオープンする」

『オープンカード』

シノビコガネ

アルティメット・ハウオウガ

電人トレイン

翼人グライド

「その中のアルティメットカードを1枚手札に加え残ったカードは山札の下に

アルティメット・ハウオウガを手札に加えターンエンド」

対戦を観戦する幸村は驚きを隠せなかった

「デッキが変わっている!？」

俺とのバトルは本気じゃなかったって事か、」

『レオン』

さまよう甲冑 レベル1、1S、BP2000
手5、ラ5、リ0、ト3

『勇貴』

電人トレイン レベル1、1S、BP3000
手5、ラ5、リ1、ト3

【ターン03】

「メインステップ、ボーン・ダイルとさまよう甲冑を召喚
さまよう甲冑召喚時効果により1枚ドロ―

ターンエンド」

『レオン』

さまよう甲冑 レベル1、1S、BP2000

さまよう甲冑 レベル1、1、BP2000

ボーン・ダイル レベル1、1、BP2000

手5、ラ5、リ0、ト2

『勇貴』

電人トレイン レベル1、1S、BP3000

手5、ラ5、リ1、ト3

【ターン04】

「まだ動きを見せないのかな？」

「ふん、貴公には関係のないこと」

「そうだね」

メインステップ、電人トレインのソウルコアをチェンジし、シノビ
コガネを召喚、召喚時効果により1個コアをこのスピリットの上に追
加

更に召喚コストにソウルコアを使用しているため更に自分の他の
自分のスピリットの上にボイドから1個コアを追加

そして電人トレインをレベル2にアップ

アタックステップ、電人トレインでアタック」

「我がライフをくれてやる」L5↓4

「ターンエンド」

『レオン』

さまよう甲冑 レベル1、1S、BP2000
さまよう甲冑 レベル1、1、BP2000
ボーン・ダイル レベル1、1、BP2000
手5、ラ4、リ1、ト2

『勇貴』

電人トレイン レベル2、3、BP5000 疲
シノビコガネ レベル1、1、BP2000
手5、ラ5、リ0、ト4S

【ターン05】

「やはりコアブーストをかけてきたか

ならば、メインステップ！

ネガ・テュポーンをレベル2で召喚！

不足コストはさまよう甲冑より確保

召喚時効果によりネクサスを手札に戻せるが不発

だが、連鎖紫により1枚ドロ

アタックステップ、ネガ・テュポーンでアタック！

「ライフで受ける！」L5↓4

「ターンエンド」

『レオン』

さまよう甲冑 レベル1、1S、BP2000
ネガ・テュポーン レベル2、3、BP6000 疲
ボーン・ダイル レベル1、1、BP2000
手6、ラ4、リ0、ト2

『勇貴』

電人トレイン レベル2、3、BP5000 疲
シノビコガネ レベル1、1、BP2000
手5、ラ4、リ1、ト4S

【ターン06】

「メインステップ、ネクサス、隠されたる賢者の樹をレベル2で配置
アタックステップ、電人トレインでアタック！」

「相手のスピリットがアタックした為ネガ・テュポーンの効果が発揮

紫のスピリット、すなわちネガ・テュポーンにボイドから1個コアを追加しレベル3にアップし回復する」

「フラッシュタイミング、マジック、土遁之術を使用

不足コストは電人トレインをレベル1にダウン

これによりネガ・テュポーンを疲労させる」

「面白い、ライフで受ける」L4↓3

「エンドステップ、隠されたる賢者の樹のレベル2の効果によりトレインが回復

更にこのネクサスにソウルコアが置かれているためボイドから回復したトレインに1個コアを追加しレベル2にアップ

ターンエンド」

『レオン』

さまよう甲冑 レベル1、1S、BP2000

ネガ・テュポーン レベル2、3、BP6000 疲

ポーン・ダイル レベル1、1、BP2000

手6、ラ3、リ1、ト2

『勇貴』

電人トレイン レベル2、3、BP5000

シノビコガネ レベル1、1、BP2000

隠されたる賢者の樹 レベル2、3S

手4、ラ4、リ0、ト4

【ターン07】

「メインステップ、ネガ・テュポーンをレベル1にダウンし新たにさまよう甲冑を召喚、召喚時効果で1枚ドロ

更に、折神アントラーを召喚、ネガ・テュポーンとブレイヴ！

アタックステップ、ネガ・テュポーンでアタック！

折神アントラーの合体時効果、シノビコガネのコアを1個リザーブに置き、ソウルコアの置かれているさまよう甲冑にボイドから1個コアを追加

シノビコガネは消滅する」

「面白い一手だ

ならばこちらはフラッシュユタイミング、マジック、鉄壁ウォールを
使用

不足コストは隠されたる賢者の樹より確保
そのアタックは電人トレインでブロック！」

折神アントラーと合体したネガ・テュポーンによりトレインが破壊
されそうになるが半透明の防壁に阻まれトレインは破壊を間逃れた
「鉄壁ウォールの効果、このバトルの終了時アタックステップを終了
させ、更にソウルコアをコストとして使用した時このバトルで破壊さ
れたスピリット全ては疲労状態でフィールドに残る」

「ターンエンド」
『レオン』

さまよう甲冑 レベル1、2S、BP2000

ネガ・テュポーン+折神アントラー レベル1、2、BP900
0 疲

さまよう甲冑 レベル1、1、BP2000

ボーン・ダイル レベル1、1、BP2000

手6、ラ3、リ1、ト2

『勇貴』

電人トレイン レベル2、3、BP5000 疲

隠されたる賢者の樹 レベル1、0

手4、ラ4、リ1、ト7S

【ターン08】

「メインステップ、そろそろこちらも行こうか

電人トレインの【スピリットソウル、白】が発揮

白のシンボルを追加する

よって

転召の渦を破り来れ、白銀の翼

その牙を剥き、力を振るえ！

アルティメット・グラン・ウォーデンをレベル4で召喚！」

「おお、グラン・ウォーデン！

そのスピリットには以前破れた

今度は勝たせて貰う！」

「出来るかな？」

バーストをセットしアタックステップ

アルティメット・グラン・ウオーデンでアタック！

アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガーカード』

ボーン・ダイル

「ヒット！」

さまよう甲冑2体を指定し残りのスピリット全てを山札の下に「

折神アントラーはスピリット状態でフィールドに残す

そのアタック、ライフで受ける」 L3↓2

「ターンエンドだ」

『レオン』

さまよう甲冑 レベル1、2S、BP2000

折神アントラー レベル1、1、BP4000疲

さまよう甲冑 レベル1、1、BP2000

手6、ラ2、リ4、ト2

『勇貴』

アルティメット・グラン・ウオーデン レベル4、2S、BP2

0000疲

電人トレイン レベル2、3、BP5000

隠されたる賢者の樹 レベル1、0

手2、ラ4、リ1、ト6、バ有

【ターン09】

「メインステップ！」

さまよう甲冑のソウルコアをリザーブに

そして、貴公の無力さを呪うがいい！

漆黒の鎧の皇、黒皇武将ダークネス・グリフォンをレベル2で召喚

！

召喚時効果により自分のシンボルを色一色につき相手のスピリット、アルティメットを手札に戻す！

戻れ、グラン・ウオーデン、電人トレイン！」

「くっ、っ、」

勇貴のスピリット2体が手札に戻される

だが、本来リザーブに置かれるコアが全てトラッシュに置かれた
「なに!?!」

「更にソウルコアを召喚コストとして使用したので手札に戻されたスピリット、アルティメットのコアは全てトラッシュに置かれる

更に折神アントラーをダークネス・グリフォンとブレイヴ!

さまよう甲冑をレベル2にアップしバーストをセット

アタックステップ、さまよう甲冑レベル1でアタック！」

「ライフで受ける」L4↓3

「更にさまよう甲冑レベル2でアタック！」

「フラッシュタイミング、ハクビソードを神速召喚

そのアタックはライフで受ける」L3↓2

「判断を誤ったな

折神アントラーの合体時効果を忘れたかな？」

「残念だったな

『ライフ減少』によりバースト発動

マジック、デイメンション・シールド

バースト効果によりアタックステップを終了させる」

「ふん、まあいいターンエンドだ」

『レオン』

さまよう甲冑 レベル2、3、BP3000

黒皇武将ダークネス・グリフォン+折神アントラー レベル2、

3、BP16000

さまよう甲冑 レベル1、1、BP2000

手5、ラ2、リ0、ト6、バ有

『勇貴』

ハクビソード レベル1、1、BP1000

隠されたる賢者の樹 レベル1、0

手3、ラ2、リ1、ト12S

【ターン10】

「貴公のこのターンで終わりだな」

「それはどうか？」

メイנסテップ、機兵フルングニル、電人トレインを召喚
トレインの召喚時効果により4枚をオープン」

『オープンカード』

機巧武者サイウン

電人トレイン

ドリームチエスト

アルティメット・ラグナ・ロック

「アルティメット・ラグナ・ロックを手札に加える

そして！

緑の力、白の力、溶け合い雄々しく奮い立て！

アルティメット・ラグナ・ロックを召喚！」

「ラグナ・ロックか、」

（だが、私にはバースト、絶甲氷盾がある

私の勝ちだ！）

「召喚時効果発揮

相手のスピリットを全て疲労させ、手札にある緑、又は白のスピ
リット、アルティメットを1枚コストを支払わずに召喚出来る」

「来るがいい、グラン・ウオーデンよ！」

「君は何かを忘れていないかな？」

そう言いながら公開したカードはグラン・ウオーデンではなく、ホ
ウオウガであった

「しまった!？」

「アルティメット・ホウオウガをノーコストで召喚！

召喚時効果によりこのターンの間、相手はバーストを発動出来ない
トレイン、ハクビソードのコアを使いラグナ・ロックをレベル4に
アップ

アタックステップ、ホウオウガでアタック」

「フラッシュタイミング、マジック、ドリームネビュラを使用

不足コストはさまよう甲冑より確保
フルングニルを手札に！」

「ふん

ホウオウガのアタックはどう受ける？」

「ライフで受ける！」 L2↓1

「ライフ、残り1だね」

「来るがいい、我が手札には貴公のアタックを待つカードがある！」

「アルティメット・ラグナ・ロックでアタック

アルティメットトリガー、ロックオン」

『トリガーカード』

黒皇機獣ダークネス・グリフォン

「コストは8、ガードだね

でもこのアタックはどう受ける？」

「よからう、ライフで受ける!!」 L1↓0

第24話 炎VS海原

そしめ6戦目

これが1回戦最後のバトルとなる

対戦組み合わせは利家対早雲

先攻は利家でバトルがスタートする

【ターン01】

「メインステップ、鉄砲犬ザツシュを召喚、バーストをセットしターンエンドだ！」

『利家』

鉄砲犬ザツシュ レベル1、1S、BP6000

手3、ラ5、リ0、ト3、バ有

【ターン02】

「自分のターン、ネクサス、芙蓉の五重塔を配置
ターンエンド」

『利家』

鉄砲犬ザツシュ レベル1、1S、BP6000

手3、ラ5、リ0、ト3、バ有

『早雲』

芙蓉の五重塔 レベル1、0

手4、ラ5、リ0、ト5S

【ターン03】

「俺のターン、側近衆ホムラマンドリルを召喚

ザツシュをレベル2にアップ

アタックステップ、ホムラマンドリル、ザツシュでアタック！」

「フラッシュタイミング、芙蓉の五重塔の効果により手札の青のカードを1枚破棄する事で2枚ドロージ、その後1枚破棄する」

『破棄』

阿弥陀如来像

『破棄2』

深淵の巨剣アビス・アポカリプス

「そして2体のアタックはライフで受ける」L5↓3

「ターンエンドだ」

『利家』

鉄砲犬ザツシュ レベル2、3S、BP11000疲

側近衆ホムラマンドリル レベル1、1、BP20000疲

手3、ラ5、リ0、ト1、バ有

『早雲』

芙蓉の五重塔 レベル1、0

手4、ラ3、リ2、ト5S

【ターン04】

「自分のターン、五聖童子、重槍巨人ランスをそれぞれレベル2で召喚

更にバーストをセツト

ターンエンドだ」

『利家』

鉄砲犬ザツシュ レベル2、3S、BP11000疲

側近衆ホムラマンドリル レベル1、1、BP20000疲

手3、ラ5、リ0、ト1、バ有

『早雲』

五聖童子 レベル2、3S、BP4000

重槍巨人ランス レベル2、2、BP5000

芙蓉の五重塔 レベル1、0

手2、ラ3、リ0、ト3、バ有

【ターン05】

「俺のターン、ザツシュをレベル1にダウンし、ベアードイーグルを召

喚

アタックステップ！

ベアードイーグルでアタック！

アタック時効果で1枚ドロー！」

「ライフで受ける」

「ここでベアードイーグルの効果発動！

ブロックされなかった為、ライフを減らす代わりに1枚ドロー！」

ザツシュ、お前も行け！」

「ライフで受ける！」L3↓2

「どうした？」

「終わりか!？」

「まだだ!!」

『ライフ減少』によりバースト発動！

No. 26 キャピタルキャピタルを配置」

「まだ終わらないって事か

ターンエンドだ」

『利家』

鉄砲犬ザツシュ レベル1、1S、BP11000疲

側近衆ホムラマンドリル レベル1、1、BP2000

ベアードイーグル レベル2、2、BP4000疲

手3、ラ5、リ0、ト1、バ有

『早雲』

五聖童子 レベル2、3S、BP4000

重槍巨人ランス レベル2、2、BP5000

芙蓉の五重塔 レベル1、0

No. 26 キャピタルキャピタル レベル1、0

手2、ラ2、リ1、ト3

【ターン06】

「炎利家！

自分はもう貴様に戦国六武将は召喚させない！

スピリット2体をレベル1にダウン

そして

蒼き海原の底、深き眠りより、いざ解き放たれん！

蓮華王センジュを、レベル2で召喚！

更にバーストをセット

アタックステップ、蓮華王センジュ、攻めろ！

母なる海よ、大いなる今こそ姿を現せ！ソウルバースト発動！

阿弥陀如来像をバースト配置

その時に五聖童子のコアをネクサスに移動！」

「なに?」

レベルも上がらねえのに」

「阿弥陀如来像の配置時効果、ボイドから1個コアをこのネクサス上に！」

これによりレベル2にアップ！

更にセンジュの効果により貴様のスピリット全てを破壊！」

センジュの放った光に飲み込まれホムラマンドリル、ザツシユ、ベアードイーグルが破壊された

「センジュは自分のネクサス1枚につき青のシンボルを1つ追加！」

阿弥陀如来像はレベル2の時、3枚として扱う

よってセンジュのシンボルは今！6個！

ブロックするスピリットのいない今、貴様のライフ、全てを打ち砕く!!」

「まだだ!!」

『相手のスピリットのアタック』によりバースト発動！

刀の霸王ムサシード・アシユライガーをレベル2でバースト召喚！

ブロックだ、アシユライガー！」

突如現れたムサシード・アシユライガーであったが、センジュに叩き潰される

「くっ、っ、

ターンエンドだ

だが、貴様のライフは5

戦国六武将の召喚条件は満たされていない！」

『利家』

手3、ラ5、リ3、ト2

『早雲』

重槍巨人ランス レベル2、2、BP3000

蓮華王センジュ レベル2、2、BP12000

芙蓉の五重塔 レベル1、0

No.26 キャピタルキャピタル レベル1、0

阿弥陀如来像 レベル2、3

手1、ラ2、リ0、ト5S

【ターン07】

「浜の鬼姫さんや、お前、何か忘れてねえか？」

俺のデツキのキースピリットはレオンランサーじゃねえぞ！」

「なに!？」

「まずは角タヌを2体、更にオードランを召喚

そして、来やがれ！俺のセンゴク・タイガー！

そして3体のスピリットのコアを使い、刀将鎧アシユライオンを召

喚、センゴク・タイガーとブレイヴ！」

「しまった!？」

「アタックステップ！

ブレイヴスピリットでアタック！

刀将鎧アシユライオンの合体時効果発動！

ランスを破壊！

そしてダブルシンボルのメインのアタックだ!!」

「くっ、っ、

ライフで受ける、っ、」L2↓0

第25話 次へのステップ

利家、早雲のバトルが終了しそこでこの日の日程が全て終了を迎えた

「本日のバトルはここまでなのです

勝利なきった方々は明日も、そして惜しくも負けてしまった方々は彼らの応援をよろしくなのです」

天魔市が簡単な挨拶を終えると観客の人々は疎らに席を立ち家路へと足を運ぶ

徐々に人々がいなくなり静まり返る会場に弾は立ち尽くす

「まさか異界王が出てくるなんてな」

弾は物憂げにそう呟き先程まで彼のいた場所を見つめる

「なあ弾、あの異界王っていうのは誰なんだ？」

幸村が弾に問いかけると弾はグラン・ロロでの、そして自分達の時代で起きた戦いについてを話した

「そうか、、、 あいつもどこか第六天魔王に近い何かを感じる気がする何か、無理やり流れを変えようという感じが、、、」

そう幸村は直感で察したように呟くと手に握られたカードに視線をおとす

「だから今回も俺は異界王とバトルをして止めようと思っている

その為には俺は勝ち続ける、例え誰が相手でもな」

「そうか

でも、俺も負けるつもりはないぜ！

この後きつとお前ともバトルをすることになるだろうし、勝手も負けても恨みっこなしでいこうな！」

「もちろんだ！」

弾と幸村が熱い握手を交わす一方、勇貴は客席の出入り口付近で会場を見渡す

「これからきつと面白くなる」

「そうでなくてはならない！」

その背後から青い船服を身に纏った男性『異界王』が現れる

「百瀬勇貴、貴様と馬神弾、そして烈火幸村の誰が私の前に立つか、楽しみにしているぞ！」

特に勇貴、お前は俺に敗れ続けた

それをお前が甘んじるといふなら話は別だがな」

「異界王、お前ならそういうだろうな」

「よもや第六天魔王に負けるなどという事がないことを祈るだけだな」

勇貴は小さく笑むと談笑に勤しむ弾と幸村を見つめた

(弾、君はこの時代に来て更に強くなった

だが、それは異界王や俺も同じだ

だからこそ分かる、今の君では異界王に勝てないことを)

「大きな流れを産むのは俺か彼等のいずれかなのだろうか？」

だからお前はただ待つといい

以前、グラン・ロロでお前が行った様に高みの見物で」

そう言い残し勇貴はその場を後にしたのであった

「ふん、さて、この時代を制するのは誰となるのか楽しみにしている」

その夜、弾はみんなが寝静まった頃1人外へ出て夜風に身を晒す

空には綺麗な満月が輝く

「こうしているとグラン・ロロを思い出すよ」

見知らぬ土地、知らない人々の世界で夜空を見上げる

あの頃との違いは共に旅をした友達『ズングリー』と『マギサ』がないということ

「ズングリー達は元気かな、？？」

彼等と旅をした頃の事がまるで昨日の事に脳裏に浮かぶ

「何をしているの？」

振り返るとそこにはまるの姿があった

「まるか、？」

いや、グラン・ロロを思い出していたんだ」

「そっか、？」

私も少し、ううん、私も思い出していた

「何だか懐かしいね、、、こう言うの」

「そうだな」

「まるであの頃に戻ったみたいだよな」

「弾は異界王とまた戦うつもりだよね？」

「弾は小さく頷く」

「もう一度必ず勝つ」

「その為にはまる、お前にも勝つよ！」

「私も負けるつもりはないけどね！」

「まるは優しく微笑むとゆっくりと振り返ると歩き出した」

「もう寝よ、じゃあ、おやすみ」

第26話 因縁の対決

そして翌日、2回戦の抽選が行われた

2回戦第1試合の組み合わせはヴィオレまるVS炎利家である

「こんな形である時の決着をつけれるなんて

おもしろいじゃない?」

「ふん、そうだな!」

お前には借りがあるからな!

今度こそ決着をつけさせてもらおう!!

来やがれ!炎獣皇!!」

2人が対戦の準備を終えると激しく視線が火花を散らす

「ゲートオープン、界放!!」

第1ターン

利家先攻で始まったバトル、利家はツノハズクにソウルコアを乗せて召喚しバーストをセットしターンエンド

第2ターン

まゐはカースガールを召喚するのみでターンエンド

第3ターン

利家は鉄砲犬ザッシュをコア2個を乗せて召喚
ツノハズクでアタックしまゐはライフで受けた

そして第4ターンを迎えた

【ターン04】

「メインステップ!」

冥騎獅アロケインを召喚!

そして、打ち破れ、紫の闇!

アルティメット・ベルゼビートを召喚!

【スピリットソウル、紫】によりアロケインに紫のシンボルを追加
不足コストはアロケインより全てのコアを使用

ターンエンド」

『利家』

ツノハズク レベル1、1S、BP7000疲

鉄砲犬ザツシュ レベル1、2、BP10000
手3、ラ5、リ0、ト2、バ有

『まる』

カースガーゴイル レベル1、1S、BP3000
アルティメット・ベルゼビート レベル3、1、BP13000
手3、ラ4、リ0、ト5

【ターン05】

「早くも来やがったな！

おもしろえ！

メインステップ、ツノハズクを更に召喚、召喚時効果によりカース
ガーゴイルを破壊し1枚ドロ

アタックステップ、ツノハズクでアタック！」

「ライフで受ける！」L4↓3

「ターンエンドだ！」

『利家』

ツノハズク レベル1、1S、BP7000
ツノハズク レベル1、1、BP7000
鉄砲犬ザツシュ レベル1、2、BP10000
手4、ラ5、リ0、ト2、バ有

『まる』

アルティメット・ベルゼビート レベル3、1、BP13000
手3、ラ3、リ2S、ト5

【ターン06】

「メインステップ、バットナイトを2体召喚、それぞれレベル1と2
召喚時効果によりアルティメットがいるため合計4枚ドロする
！

続けてマジック、トータンタンツを使用、不足コストはバットナイ
ト1体より使用

手札のスピリットカードを破棄することでツノハズク2体から1
つずつコアをリザーブに！

よってツノハズク2体を破壊！

アタックステップ、アルティメットベルゼビートで攻撃！
アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガーカード』

絶甲氷盾

「ビット！」

これによりトラッシュのバットナイトを再召喚！

不足コストはバットナイトより確保

バットナイトの召喚時効果により2枚ドロ！」

「おもしれえじゃねえか！」

ライフで受けてやらあ!!」 L5↓4

「へえ、やっぱり戦国六武将を早く出したいみたいね

ターンエンド」

『利家』

鉄砲犬ザツシュ レベル1、2、BP10000

手4、ラ4、リ3S、ト2、バ有

『まる』

アルティメット・ベルゼビート レベル3、1、BP13000

疲

バットナイト レベル1、1S、BP2000

手6、ラ3、リ0月、ト7

【ターン07】

「メインステップ！」

やるじゃねえか！

だが、ライフを3にしないことでレオンランサーを封じたつもりだ
ろうが無駄だ！

まずは側近衆ホムラマンドリルを召喚

そしてザツシュの【スピリットソウル、赤】が発動！

これにより戦国六武将レオンランサーを召喚する!!

不足コストはザツシュから全てのコアを使用する」

「な!？」

ライフはまだ4つなの!？」

「側近衆ホムラマンドリルの効果、戦国六武将を召喚する時、ソウルコアを召喚コストとして使用する事で召喚条件を満たした物として扱える

ターンエンドだ」

『利家』

戦国六武将レオンランサー レベル3、1、BP12000

側近衆ホムラマンドリル レベル1、1、BP2000

手3、ラ4、リ0、ト6S、バ有

『まる』

アルティメット・ベルゼビート レベル3、1、BP13000

疲

バットナイト レベル1、1S、BP2000

手6、ラ3、リ0、ト7

【ターン08】

「レオンランサーが召喚されてしまった、、

でも一気に勝負を決めるまで！

メインステップでデモ・ボーン、ツチグデーモンをそれぞれレベル2で召喚、バットナイトをレベル2にアップ

アルティメット・ベルゼビートをレベル4にアップしバーストをセツト

アタックスステップ、アルティメット・ベルゼビートで攻撃！

アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガーカード』

リユーマン・ザ・フォーミュラ

「コスト8、ガードだ！

そのアタックはライフで受ける!!」L4↓3

「くっ、、ターンエンド」

『利家』

戦国六武将レオンランサー レベル3、1、BP12000

側近衆ホムラマンドリル レベル1、1、BP2000

手3、ラ4、リ0、ト6S、バ有

『まる』

アルティメット・ベルゼビート レベル4、3、BP24000
疲

バットナイト レベル2、2S、BP3000

ツチグデーモン レベル2、2、BP3000

デモ・ボーン レベル2、2、BP2000

手4、ラ3、リ0、ト1

【ターン09】

「メインステップ！」

戦国六武将レオンランサーをレベル5、側近衆ホムラマンドリルをレベル2にあップ

アタックステップ！

戦国六武将レオンランサーでアタック！

アタック時効果発揮、みなぎれ、俺の炎！燃え盛れ、レオンランサー！ソウルドライブ発揮！！

更にホムラマンドリルの効果によりレオンランサーのBP破壊効果の上限をプラス10000！！

よってBP30000以下のスピリット、アルティメット全てを破壊だ！！」

レオンランサーの炎に飲み込まれるのスピリット達が焼き尽くされた

「更にソウルコアを置かれているスピリットを破壊したので相手のライフを1つリザーブに！」

「くっ！！」L3↓2

「行け！レオンランサー！！」

「まだよ！『ライフ減少により』バースト発動！

マジック、絶甲氷盾！

ボイドからライフにコアを追加しコストを支払ってフラッシュ効果、このバトル終了後アタックステップを終了させる

更にフラッシュタイミング、マジック、封臨禍斬を使用

ソウルコアをコストとして支払うことでレオンランサーを破壊す

る！」L2↓3

「なに!？」

ちっ、っ、ターンエンドだ、っ、

『利家』

側近衆ホムラマンドリル レベル2、4、BP3000

手4、ラ3、リ05、ト0、バ有

『まる』

手3、ラ3、リ1、ト10S

第27話 決着の時

【ターン10】

「メインステップ！」

やるじゃない、私をここまで追い詰めるなんて」

「それはこっちのセリフだ

口だけじゃないって事か」

「それはどうも！

でもこのバトルの主役は私なんだから！

アロケインを召喚

更に

打ち破れ、紫の闇！

魔界七将ベルゼビートを召喚！

召喚時効果によりトラッシュの「呪撃」を持つバットナイトを2体

ノーコストで召喚、召喚時効果により2枚ドロ、更にバーストを

セット

アタックステップ、魔界七将ベルゼビートで攻撃!!」

「フラッシュタイミング！

マジック、火炎之咆哮！

BP3000以下の相手のスピリット全てを破壊だ!!」

燃え盛る炎に飲まれるのスピリットはベルゼビートを残し破壊

された

「そのアタック、ライフをくれてやらあ!!」 L3↓2

「ふうん、まだ粘るんだ

ターンエンド」

『利家』

側近衆ホムラマンドリル レベル2、4、BP3000

手3、ラ2、リ1、ト0、バ有

『まる』

魔界七将ベルゼビート レベル1、1S、BP6000

手3、ラ3、リ4、ト7、バ有

【ターン11】

「メインステップで鉄砲犬ザツシユをレベル2で召喚

更にマジック、双翼乱舞を使用し2枚ドロ―

続けてマジック、ネオダブルドロ―を使用し2枚ドロ―!

ターンエンドだ」

『利家』

側近衆ホムラマンドリル レベル2、2、BP3000

鉄砲犬ザツシユ レベル2、3、BP11000

手5、ラ2、リ0、ト6、バ有

『まる』

魔界七将ベルゼビート レベル1、1S、BP6000

手3、ラ3、リ4、ト7、バ有

【ターン12】

「ドローステップ、っ!」

「何か来たようだな!」

「なんだと思う?」

「さあな、何が来ようと俺には関係ないからな!

そいつを潰して勝つのは俺だ!」

「メインステップ、まずはバットナイトを召喚、召喚時効果により1枚

ドロ―

そしてベルゼビートのソウルコアをチェンジし、ベルゼビートを転

召!!

そして魔界七将アスモディオスをレベル2で召喚!

召喚時効果により相手のスピリット全てから2個ずつコアをリ

ザーブに!

ホムラマンドリルは破壊!

更に魔界七将ベルゼビートからの転召により相手は手札を4枚破

棄する!」

「やるじゃねえか!

手札4枚くれてやる」

「アタックステップ、魔界七将アスモディオスで攻撃!」

「ザツシユでブロックだ！」

アスモディオスに切り裂かれザツシユが破壊される

「だが！」

『相手による自分のスピリット破壊』によりバースト発動！」

「ここまで温存していたバーストね！」

「ああ！」

マジック、双光気弾、バースト効果により2枚ドローだ！」

「ターンエンド」

「ここまで温存していたのはアスモディオスを警戒しての事だったんだ」

『利家』

手3、ラ2、リ5、ト6

『まゐ』

魔界七将アスモディオス レベル2、2S、BP9000

バットナイト レベル1、1、BP2000

手3、ラ3、リ0、ト9、バ有

【ターン13】

「メインステップ！」

角タヌを2体召喚、1体はレベル2

そして、来やがれ、俺のセンゴクタイガー!!」

「キースピリットの登場ね」

「更に刀将鎧アシユライオンを召喚、センゴクタイガーとブレイヴ!!

アタックステップ、合体スピリットでアタック！」

刀将鎧アシユライオンのアタック時効果によりバットナイトを破壊！」

「やるじゃない

ライフで受ける」L3↓1

「バーストを開けよ！」

「ええ！」

バースト発動！」

マジック、封臨禍斬！」

バースト効果により相手はアタックする時そのスピリットのコアを1個ボイドに置かなくはアタックできない

更にコストを支払って疲労状態の合体スピリットを破壊

不足コストはアスモディオスのコアを使用

アスモディオスはレベル1にダウン」

「最後まで諦めねえか！

だが止めだ、角タヌでアタック！

角タヌのコアをボイドに置きレベル1にダウンだ！」

「ライフで受ける！」 L1↓0

第28話 天魔王降臨

第2回戦、2試合目の組み合わせは剣蔵V S 1回戦ではシードとなった第六天魔王のバトルとなった

第1ターン

剣蔵はバーストをセットのみでターンエンド

第2ターン

第六天魔王はイチバンスピアーをレベル2で召喚、バーストセットしイチバンスピアーでアタック

剣蔵がライフで受けターンエンド

第3ターン

剣蔵は忠臣ラテル、ブレイヴの翠凰弓ニックスボウを召喚、ラテルとブレイヴしアタック

ラテルの効果によりコアを増やし第六天魔王がライフで受けターンエンド

第4ターン

第六天魔王は天魔王ゴッドゼクスー零ノ型ーを召喚、召喚時効果により1枚ドロし六天連鎖によりラテルを破壊

剣蔵はバーストを発動しアルティメット・ウシワカのバースト効果でイチバンスピアー、ゴッドゼクスー零ノ型ーを疲労させ召喚

第六天魔王はネクサス、オワリノセカイを配置しターンエンド

第5ターン

剣蔵は忠臣ユキノジョウを召喚、ニックスボウとブレイヴさせウシワカをレベル4にアップしアタック

アルティメットトリガーによりガーネットドラゴンをヒットさせ第六天魔王はライフで受けターンエンド

そして第6ターンを迎えた

【ターン06】

「メインステップ！」

イチバンスピアーの効果により天魔王ゴッドゼクスの召喚コストを6とする

よって

天より降臨せよ、万能なる魔界の支配者！天魔王ゴッドゼクスをレベル2で召喚

イチバンスピアーのソウルコアをゴッドゼクスのコアをチェンジ
アタックステップ、天魔王ゴッドゼクスでアタック！

天魔王ゴッドゼクスの効果によりアルティメット・ウシワカのコア
2個をトラッシュに置く」

「ライフで受けます！」 L4↓3

「ターンエンドだ」

『剣蔵』

忠臣ユキノジョウ＋翠凰弓ニックスボウ レベル1、1S、BP
6000

アルティメット・ウシワカ レベル3、1、BP9000疲
手2、ラ3、リ0、ト5、バ有

『第六天魔王』

天魔王ゴッドゼクス レベル2、2S、BP12000疲

天魔王ゴッドゼクスー零ノ型ー レベル1、1、BP3000

イチバンスピアー レベル1、1、BP3000

手3、ラ4、リ0、ト4、バ有

【ターン07】

「スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、リフレッシュ
ステップ！」

「させん！」

天魔王ゴッドゼクスの六天連鎖！

相手のスピリット、アルティメットは回復しない！」

「なんだって!？」

ならメインステップ！

異牙忍頭首トウドウをレベル2で召喚！

不足コストはアルティメット・ウシワカより確保ニックスボウをト
ウドウに交換

アタックステップ、異牙忍頭首トウドウでアタック！

バトル時効果によりイチバンスピアーと天魔王ゴッドゼクスー零ノ型―を疲労させ次のターンリフレッシュユステップでは回復できない」

「ふん、ライフで受ける」L4↓3

「ターンエンド！」

『剣蔵』

忠臣ユキノジョウ レベル1、1S、BP4000

異牙忍頭首トウドウ+翠凰弓ニックスボウ レベル3、4、BP14000疲

手2、ラ3、リ0、ト5、バ有

『第六天魔王』

天魔王ゴッドゼクス レベル2、2S、BP12000

天魔王ゴッドゼクスー零ノ型― レベル1、1、BP3000疲

イチバンスピアー レベル1、1、BP3000疲

手3、ラ3、リ1、ト4、バ有

【ターン08】

「メインステップ、さまよう甲冑を召喚、召喚時効果によりデツキから1枚ドロ―」

『「相手の手札が増えた」事によりバースト発動！』

千枚手裏剣のバースト効果でさまよう甲冑を疲労させボイドよりコアを2個リザーブに！」

「ふん、更に六分儀剣のルリ・オーサをレベル2で召喚、召喚時効果によりボイドよりイチバンスピアー、ルリ・オーサに1個ずつコアを追加

ゴッドゼクスー零ノ型―をレベル2アツプ

アタックステップ、ルリ・オーサでアタック！

ゴッドゼクスの効果でトウドウのコアを1個トラッシュユに置く！」

「ライフで受けます！」L3↓2

「ターンエンドだ」

『剣蔵』

忠臣ユキノジョウ レベル1、1S、BP4000

異牙忍頭首トウドウ+翠凰弓ニックスボウ レベル3、4、BP
14000疲

手2、ラ2、リ3、ト5

『第六天魔王』

天魔王ゴッドゼクス レベル2、2S、BP12000

天魔王ゴッドゼクスー零ノ型ー レベル1、1、BP3000疲

イチバンスピアー レベル1、1、BP3000疲

さまよう甲冑 レベル1、1、BP2000疲

六分儀剣のルリ・オーサ レベル2、2、BP5000疲

手3、ラ3、リ0、ト4、バ有

【ターン09】

「メインステップ、！」

(ゴッドゼクスの六天連鎖でトウドウは回復できない、、、
ならー！)

「メインステップでマジック、双光気弾を使用！

ネクサス、オワリノセカイを破壊します！」

渦巻く炎が白き結晶に囲まれた社を破壊した

「更に！」

剣舞え、白い牙を剥け！緑の戦士の力をここに！

アルティメット・ビヤクガロウをレベル4で召喚！

アタックステップ、アルティメット・ビヤクガロウでアタック！

アルティメットトリガー、ロックオン！」

『トリガーカード』

イチバンスピアー

「クリティカルヒット！」

天魔王ゴッドゼクスを疲労させる！」

「ふん、ライフで受ける！」 L3↓2

「ビヤクガロウのクリティカルヒット時効果発揮、バトル終了時に疲
労状態の相手のスピリットを全て山札の下に！」

「のぼせあがるな、『ライフ減少により』バースト発動！」

マジック、絶甲氷盾！

ボイドよりコアをライフに追加しフラッシュ効果発揮、アタックス
テップを終了させる」

「ターンエンドですー!」

『剣蔵』

忠臣ユキノジョウ レベル1、1S、BP4000

異牙忍頭首トウドウ+翠凰弓ニックスボウ レベル3、4、BP
14000疲

アルティメット・ビヤクガロウ レベル4、3、BP16000

手1、ラ2、リ3、ト8

『第六魔王』

手3、ラ3、リ10、ト3

【ターン10】

「ゴッドゼクスを山札の下に戻したことで随分と浮かれているよう
だが、貴様に勝ち目はない」

「この状態をひっくり返すことは出来ないと思いますけど?」

「ふん、それはどうかな?」

メインステップ、鎧闘鬼ラシヨウを召喚、ラシヨウの召喚時効果に
より我がデッキから4枚破棄しデッキから2枚ドロウする」

『破棄』

イチバンスピアー

六分儀剣のルリ・オーサ

絶甲氷盾

天魔王ゴッドゼクス

「ゴッドゼクスがトラッシュに置かれた!?!」

「続けてマジック、天魔王降臨を使用

トラッシュのイチバンスピアーを手札に戻し、更にトラッシュに天
魔王ゴッドゼクスがある時、このスピリットを召喚出来る

魔界に生まれし無双の勇者よ!無限なる天の力を持って現れ出でよ
!

召喚、天魔王ゴッドゼクスー破ノ型ー!!」

「コスト10のスピリットをコストも支払わずに召喚だつて!?!」

「更に再びネクサス、オワリノセカイをレベル2で配置

アタックステップ、天魔王ゴッドゼクスー破ノ型ーでアタック！

六天連鎖ー破ノ型ー発揮！

我がフィールドのシンボルと同じ色のスピリット、アルティメットをー体破壊する！

消えろ、ユキノジョウ!!」

ー破ノ型ーの放ったビームに飲まれユキノジョウが破壊される

「ユキノジョウ!!

でもフラッシュタイミング、ハクビソードを神速召喚！

ブロックだ！」

剣蔵がブロックを宣言するが、ハクビソードは動こうとしない

「ネクサス、オワリノセカイのレベル2の効果によりゴッドゼクスと名のつくスピリットをブロックする為には最もBPの大きなスピリットでなくてはブロック出来ない

つまり異牙忍頭首トウドウでなくてはブロックが出来ない！」

「そんな!？」

「ゴッドゼクスー破ノ型ーはダブルシンボルだ」

「うう、、、ライフで受けます!!」L2↓0

ライフで受けた瞬間、かつてない衝撃により剣蔵は吹き飛ばされ地面に叩きつけられた

弾達は慌てて剣蔵に駆け寄る

「大丈夫か、剣蔵!」

「弾、、君、、気をつけて、、」

そう言い残し剣蔵は意識を失うのであった